

2020年  
度

JIYUGAOKA SANNO College School of Business Administration  
Distance Education Division

# 自由が丘 産能短期大学

## 能率科 通信教育課程

### 学生募集要項

#### 新コース

- グローバルコミュニケーションコース
- 経営管理コース
- リベラルアーツコース
- 女性のためのキャリアアップコース
- 数字センスアップコース
- ビジネス・コミュニケーションコース
- 心理学基礎コース
- 健康・福祉マネジメントコース
- 社会保険労務士コース

#### 制度のご案内

- シニア奨学金制度
- 再入学する方への入学金免除

#### 入学説明会情報



全国各地で入学説明会を行っております。  
お気軽におこしください。  
(入学説明会情報はコチラ)

インターネット出願も可能

#### 入学志願書 受付期間

4月期入学 (4月1日付) **1/10～4/30** 必着

10月期入学 (10月1日付) **7/1～10/31** 必着

出願から約2週間後に学生証(簡易書留)を発送いたします。



自由が丘 産能短期大学 通信教育課程

## 出願から学習開始まで

1

出願



2

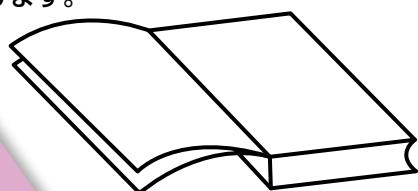
書類審査

●学力試験はありません。  
入学志願書・証明書等に  
より書類審査を行います。

5

学習開始

●リポートの提出は、4月  
期入学生は4月1日から、  
10月期入学生は10月1  
日から受け付けます。



4

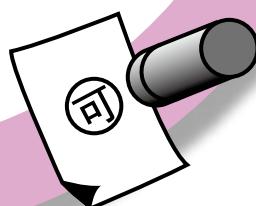
教材・学生証等  
発送

●出願から教材・学生証等  
の発送まで約2週間かか  
ります。  
●教材は宅配便、学生証は  
簡易書留で発送します。

3

入学許可

●書類審査で不備がなければ  
入学を許可します。



### ■任意寄付金の取扱いについて

○本学では寄付金の募集を次のとおり行っております。

#### 1. 目的

本学の創立者 故上野陽一を記念して創設した学内給付奨学金『上野奨学金』の原資となる『上野奨学基金』を充実させること、および校舎の改修・建替えなどを行いキャンパス内の施設設備を拡充すること、本学の構想にご賛同いただいた方々に、財政基盤強化のための寄付金募集を呼びかけるものです。

#### 2. 用途

- ・教育研究に要する経常的経費に充当します
- ・教育研究用の施設設備の取得費等に充当します
- ・上野奨学基金に充当します

○この寄付金は、入学前の募集は行っておりません。

○また、入学後に募集のご案内をさせていただきますが、応募を強制するものではありません。

学校法人産業能率大学 総務部総務課（寄付金担当）

〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15

TEL.03-3704-9030

<b>I 入学資格別の入学案内</b>	<b>正科生</b>	<b>高等学校を卒業した方</b>	<input type="radio"/> 郵送による出願 <input type="radio"/> インターネット出願 <input type="radio"/> 記入例 P.6~7	1 入学次	
		高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した方 他の大学または短期大学を退学(除籍を含む)した方 など	P.3~8	編2 入学次	
		<b>大学・短期大学または高等専門学校を卒業した方</b>	<input type="radio"/> 郵送による出願 <input type="radio"/> インターネット出願 <input type="radio"/> 記入例 P.12~13	P.9~14	
	<b>科目等履修生</b>	専修学校専門課程(専門学校)を卒業した方 4年制大学に2年以上在学し、62単位以上修得した方 高等学校の専攻科(2年以上)を修了した方 など	<input type="radio"/> 郵送による出願 <input type="radio"/> インターネット出願 <input type="radio"/> 記入例 P.18~19	1、 2 入学次	
		<b>本学を退学または除籍された方</b> <b>本学を卒業した方</b>	<input type="radio"/> 郵送による出願 <input type="radio"/> インターネット出願 <input type="radio"/> 記入例 P.18~19	P.15~20	
	<b>入学資格取得生</b>	<b>中学校を卒業した方(高等学校中退など)</b>	<input type="radio"/> 郵送による出願のみ <input type="radio"/> 記入例 P.23~24	履科 修目 生等	
		所定の単位を修得することによって、本学通信教育課程の正科生としての 入学資格(1年次入学)を得ることを目指す方	<input type="radio"/> 郵送による出願のみ <input type="radio"/> 記入例 P.26~27	入学 資格	
			P.25~28	P.21~24	
<b>II 学費等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学費サポートプラン利用方法(月々6,000円以上から分納が可能です)</li> <li>・奨学金制度</li> </ul>					
P.29~33					
<b>III 入学前の技能審査等の合格に係る学修の単位認定</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取得した資格を単位として認定します。</li> </ul>					
P.34~37					
<b>IV 学習の開始時期について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクーリング受講、科目修得試験受験(出願時期により、学習開始時期が異ります)</li> </ul>					
P.38					
<b>V 学生メール配信サービス</b>					
P.39					
<b>VI 科目等履修生が入学時に選択できる授業科目の一覧</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科目等履修生はこの概要を参考し科目を選択してください。</li> </ul>					
P.40~46					
<b>学則抜粋</b> <b>個人情報の取り扱い</b>					
P.47~55					
<b>出願手続き</b>					
P.56~60					
<b>入学者紹介制度</b>					
P.61~63					



## 育成する人材像

ビジネス実務の専門知識・技能をいかし、また現代社会を生きる教養をもって、課題に創造的に取り組むことを通じて、豊かな社会をつくることに寄与する人材を育成します。

## アドミッション・ポリシー

学ぶ意欲のある、幅広い年齢層、様々な職業の方に、大学での学びの環境を提供することを前提とし、次のような人材を受け入れる。

- 人の意見を聴き、自分の考えをわかりやすく表現する人
- 社会の動きに关心を持ち、さまざまな視点から考え、取り組む課題を明らかにしたい人
- 学問に真摯に取り組み、学んだ知識と技能を実践の場に活用する意欲のある人
- 生活と仕事のバランスを考えた学習計画を立てられる人
- 社会や大学のルールを守り、一緒に学ぶ学友等、他の人への気配りをもって行動できる人

## 募集人員（正科生）と学生等の種別

### 1 募集人員（正科生）

能率科 1,500名

### 2 コース

- ・経営管理
- ・グローバルコミュニケーション
- ・数字センスアップ
- ・リベラルアーツ
- ・女性のためのキャリアアップ
- ・ビジネス・コミュニケーション
- ・心理学基礎
- ・健康・福祉マネジメント
- ・社会保険労務士

### 3 学生等の種別

全9コース

#### 正科生

正科生とは、短期大学卒業をめざす学生です。

卒業に必要な要件を充足することによって、短期大学の卒業資格を得ることができます。

正科生への入学は、1年次入学と2年次編入学があります。

本学の退学者・除籍者が再入学を希望する場合は、事前に本学へご相談ください。

#### 科目等履修生

科目等履修生とは、通信教育課程が開設している授業科目を任意に履修する方です。

#### 入学資格取得生

入学資格取得生とは、所定の単位を修得することによって、本学通信教育課程の正科生としての入学資格（1年次入学）を得ることをめざす方です。

同時に2つ以上の種別にまたがって在籍することはできません（例：正科生が、同時に科目等履修生として在籍する等）。

## ■障がい・健康不安のある方のご入学について

面接授業（以下、「スクーリング」といいます。）の受講や科目修得試験の受験に際しては、本学および地方会場の既存の学習環境で学習をしていただきます。障がいのある方、もしくは健康に不安のある方は、出願前に「入学受付担当」まで必ずご相談ください（電話番号 03-3704-1164）。

＜本学が対応できないもの（主な例）＞

1. 点字または拡大文字による教材、音声による教材（録音テープ・CD等）の用意
2. スクーリング・科目修得試験に際しての、介助者（手話通訳者、ノートテイカー、特製の備品（机、椅子）等）の手配

なお、介助者へのテキスト無償提供の他、本学の自由が丘キャンパスにおいては、車両通学の許可（駐車場の確保）など、個々のご事情に対応しておりますので、ご出願の前に状況をご説明ください。

# 科目等履修生

郵送による  
出願のみ

インターネット出願は受け付けしていません。

科目等履修生とは、通信教育課程が開設している授業科目を任意に履修する方です。  
出願時には、1科目以上の授業科目の登録が必要です。

## □ 履修資格

### 1. 2020年4月1日現在で、満18歳以上の方

※ 2018年度～2019年度の直近の2年間で、科目等履修生としての履修を許可されていたにもかかわらず、学習履歴（＝リポートの提出、科目修得試験の受験、面接授業（スクーリング）の受講のいずれか）がない方は、履修資格はありません。

（外国籍でかつ海外在住の方は、公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験N2以上に合格していること）

## 1 提出書類

出願書類は、出願用封筒により簡易書留で郵送してください。

ご提出いただく書類		留意事項
全員	1. 履修志願書	P.23～24の「履修志願書の記入例」を必ず参照し、<おもて><うら>両面とも志願者本人が自筆でご記入ください（鉛筆書きでも可）。
	2. 履修資格を証明する書類	次のいずれか一つをご提出ください。 ・住民票（コピーは不可、6か月以内に発行されたもの） ・運転免許証のコピー ・健康保険証のコピー ・住民基本台帳カードのコピー
	3. 証明写真2枚	同一のものを2枚、縦3cm×横2.4cm、出願前の3か月以内に撮影した証明写真。スナップ写真は不可。1枚は履修志願書に、1枚は別添の証明写真貼付用シールに貼付してご提出ください。
	4. 振替払込受付証明書	別添の払込取扱票で郵便局（ゆうちょ銀行）から学費を払い込んだ後、右端の振替払込受付証明書（お客様用）を履修志願書の裏面に貼付してください。 ※学費サポートプランの利用はできません。

1  
入学次

編2  
入学次

1、  
再  
入学次

履  
科  
修  
目  
生  
等

入  
学  
資  
格

学  
費  
等

の  
技  
能  
単  
位  
認  
定

メ  
学  
習  
開  
始

入  
学  
時  
に  
選  
択  
可  
能

個  
人  
学  
則  
抜  
抜  
取  
扱

出  
願  
手  
続  
き

紹  
介  
制  
度

入  
学  
者  
も  
く  
じ  
へ

## 2 履修期間

前学期	2020年 4月1日～2021年3月31日
後学期	2020年10月1日～2021年9月30日

\*科目等履修生として履修した方が正科生として新たに入学した場合、履修した期間は正科生の修業年限（1年次入学生は2年、2年次編入入学生は1年）には算入しません。

\*登録した授業科目は、履修期間の満了日を越えて学修することはできません。

## 3 学 費

登録料	7,000円
受講料 (5,000円／1単位あたり)	・2単位科目：10,000円 ・4単位科目：20,000円 ・1単位科目：5,000円
受講料に含まれるもの	テキスト代、リポート代、リポートの添削料、スクーリングの受講料（特設スクーリング、iNetスクーリングは除く）、科目修得試験の受験料、教材の送料。ただし海外在住者は、教材の送料を別途ご負担いただきます。
登録料（7,000円） 免除の対象者	・本学または産業能率大学を卒業した方 (履修志願書の所定欄に学生番号を記入し、受講料のみ納入してください) ※登録料の免除は、出願時のみ受け付けます。 [登録料免除の留意点] 本学を卒業見込で出願された場合、登録料の免除制度の適用は、卒業後*となります。 *4月1日以降（4月入学の場合）および10月1日以降（10月入学の場合）となります。 この日程より前に出願された場合は、上記の日程まで保留となります。 4・5月および10・11月のスクーリングは申し込みができませんので、ご留意ください。
学費の返金	学則の定めにより書類審査の結果、履修不許可となった場合以外、原則として返金しません。

### ■正科生として新たに入学する際の書類選考料免除について

本学の科目等履修生を修了した後、新たに正科生として本学に入学する場合、入学する年次に関わらず書類選考料（10,000円）を免除します。

## 4 受講科目

受講単位数の上限	登録する年度に開設されている授業科目の中から、希望する授業科目（一部の授業科目を除く）を履修できます。1年間で履修できる単位数の上限は32単位、出願時に申し込みができる授業科目数の上限は9科目です。10科目以上の受講を希望する場合は、履修後（4月期入学生は4月1日以降、10月期入学生は10月1日以降）に追加受講の手続をお取りください。
授業科目	追加受講科目の履修期限 4月期入学生：2021年3月31日 10月期入学生：2021年9月30日

### ■正科生として新たに入学する際の既修得単位の扱い

詳細については、正科生の入学資格別にご案内している「5. 卒業要件と単位認定」をご参照ください。

### ■施設設備の利用について

科目等履修生の方は、次の学習活動をする場合に、本学の施設設備を利用することができます。

1. 科目修得試験の受験
2. 面接授業（スクーリング）の受講
3. 図書館での学習

# 5-1 履修志願書の記入例 <おもて>

※志願者本人が自筆でご記入ください。うら面も必ず記入してください。

※黒のボールペンまたは鉛筆を使用し、太線枠内に楷書で丁寧に記入してください。

**①志願種別**  
該当する□に✓を付けてください。  
※本学または産業能率大学を卒業した方は、「科目等履修生（卒業生）」の方に✓を付けてください。また、⑦学生番号の項もご記入ください。

**②現住所**  
「6丁目20番地1号」の場合、記入例のように「6-20-1」とご記入ください。

**③受講科目**  
P.40~46の「VI. 科目等履修生が入学時に選択できる授業科目の一覧」を参考し、科目コードと授業科目名をご記入ください。  
※授業科目の内容は、順次ホームページをご案内します。

**⑤誓約書**  
誓約書はP.47~54の本学学則抜粋を精読のうえ、本人が署名・捺印してください。  
※記入不備や捺印漏れがあった場合は、志願書のコピーをお送りし、再提出していただきます。

**自由が丘産能短期大学 通信教育課程  
2020年度 履修志願書**

**1**  科目等履修生 **2**  科目等履修生（卒業生） **3**  入学資格取得生

種別	6	区分	1	年次	1
種別	6	区分	5	年次	1
種別	2	区分	1	年次	1

私は、学生募集要項の「個人情報の取り扱いについて」を確認し、同意のうえ記入します。

氏名	カナ	姓	タシタ	イ	名	ハナコ	花	子
漢字			短	大				
性別	1. 男	2. 女	2	生年月日	1988年05月08日	外國籍	コード	2
郵便番号	220-00072			電話番号	045(704)××××	携帯番号	090(0704)××××	3
都道府県名	神奈川県			携帯Eメールアドレス	tandai-hanako@hj.sanno.ac.jp			4
市区町村	横浜市西区			※「学生メール配信サービス」で使用しますので、必ずご記入ください。				
町・丁目・番地・団地名	南軽井沢6-20-1			卒業年月	2011年03月			5
建物・号室	産能ジョイントマンション403			卒業区分	1. 卒業 3. 修了 2. 卒業見込 4. 中退			6
出身校等								
110 高等学校 230 短期大学 231 自由が丘産能短期大学（通信課程） 120 中等教育学校 232 自由が丘産能短期大学（通信教育課程） 130 専修学校高等課程 310 大学・大学院 311 産業能率大学（通信・通信教育課程） 140 高等学校卒業程度認定試験（旧大校） 210 中学校 810 中学校								
110 高等学校 230 短期大学 231 自由が丘産能短期大学（通信課程） 120 中等教育学校 232 自由が丘産能短期大学（通信教育課程） 130 専修学校高等課程 310 大学・大学院 311 産業能率大学（通信・通信教育課程） 140 高等学校卒業程度認定試験（旧大校） 210 中学校 810 中学校								
誓約書								
上記のとおり相違ないことを誓います。 必ず捺印 2020年1月10日 出願に当たってアドミッション・ポリシーを確認しました。入学後は建学の精神に則り、 学則および関連規程を遵守することを誓約いたします。 5 氏名 短大 花子 6								
ご本人と連絡がとれない場合の緊急連絡先								
氏名 短大 通夫 住所 東京都世田谷区弥生台6-39-15 本人との続柄 父 電話番号 03(3704)×××× ※就入で父・母・配偶者等に該当する方を指定してください。 7								
以下は科目等履修生に志願する方のみご記入ください。 出願者が「110 高等学校」または「120 中等教育学校」の方は、以下の欄にご記入ください。 8								
高 等 学 校・中 等 教 育 学 校 卒 業 者 記 入 欄								
学校名 学校 課程：1. 全日制 2. 定時制 3. 通信制 学科：1. 普通科 2. 理数科 3. 商業科 4. 工業科 5. 農業科 6. その他 学生番号								
科目コード 授業科目名 科目コード 授業科目名 科目コード 授業科目名 H1A54 社会福祉入門 H1B33 経営学入門								
※志願者本人が自筆で記入してください。 ※うら面も必ずご記入ください。 志願書番号(10桁) 2200 ××××××××								
6 ご本人と連絡がとれない場合の緊急連絡先 緊急連絡先は、災害時や緊急時に必要な情報です。 成人で父母・配偶者等に該当する方を指定し、ご記入ください。 ※記入不備があった場合は、志願書のコピーをお送りし、再提出していただきます。								

1  
入学次

編2  
入学次

1、  
再  
入学次

履修  
科目  
生等

入学  
資格

学費  
等

の単位認定等

メール  
開始

入学時  
科専履修  
できる

個人  
学則抜粋  
取扱

出願  
手続き

紹介制度  
入学者

戻もくじへ

- 23 -

## 5-2 履修志願書の記入例 (うら)

1年次

2年次

1、2年次

履修科目等

入学資格

学費等

の技能審査等

学習開始  
メール配信

入学時に提出できる  
科専審査等

個人情報取扱  
学則抜粋

出願手続き

紹介制度  
入学者

### 入学志願書記入用 コード表

国籍コード	コード	国籍	コード	国籍	コード	国籍
61	台湾	67	フィリピン	73	イギリス	
62	韓国	68	マレーシア	74	ブラジル	
63	中国	69	スリランカ	75	ポルトガル	
64	香港	70	ベトナム	76	ミャンマー	
65	シンガポール	71	インドネシア	77	バキスタン	
66	タイ	72	アメリカ	99	その他	

職業コード分類	コード	職業	コード	職業	コード	職業
01	教員	04	学校職員	07	無職(主婦等)	
02	公務員	05	団体職員	08	学生(専門学校等)	
03	会社員	06	事業主全般	99	その他(パート・アルバイト)	

志望動機コード	コード	内 容
40	卒業資格を得るため	
41	職業上の資格を得るため	
42	職業上の知識習得のため	
43	本学で学びたいため	
44	教養を身に付けるため	
45	生涯学習・再学習のため	
46	特になし	
99	その他	

媒体コード	コード	媒 体
01	新聞の広告を見て	
02	各種専門雑誌を見て	
03	インターネットを見て	
04	社内の広報、または職場の上司(教育担当者)の勧め	
05	本学の卒業生・在学生の勧め	
06	担任(高等学校や併修校)の先生の勧め	
07	入学説明会に参加して	
99	その他	

⑨コード表 各項目に該当するコードを、上表から選んでご記入ください。

⑩障がい申告欄 障がいの状況について簡潔に記入し、[障害者手帳]のコピーを同封してください。

⑪振替払込受付証明書貼付欄 郵便局(ゆうちょ銀行)で学費を納入し、ここに振替払込受付証明書(お客様用)を貼ってください。

⑫健康状態 健康状態について、特記事項がある場合はご記入ください(診断書を同封してください)。

表面も含めすべての項目にご記入ください。

学歴	学校名(※必ずご記入ください)								
西暦	2004年3月	產能	中学校卒業						
西暦	2007年3月	產能商業	高等学校卒業						
西暦	年月	専門学校卒業							
西暦	2011年3月	世田谷	(大学・短大卒業中退)						
勤務先	(所属部課もご記入ください)								
産業商事(株)業務部業務課	TEL 045(704)XXXX	<input type="checkbox"/> 無職 <input checked="" type="checkbox"/> 大学名で連絡可 <input type="checkbox"/> 個人名で連絡希望 <input type="checkbox"/> 連絡不可							
職業	03志望動機	42	媒体 07						
※職業コード等は、学生募集要項の各記入例をご参照ください。									
障がいを有する方は、その状況を簡潔に記入し、[障害者手帳]のコピーを同封してください。									
( 級 肢 )									
<b>のりしき 11</b> I. 払取扱票で学費を納入された方は、「振替払込受付証明書」を貼付してください  II. 入学資格取得生の方で学費サポートプランをご利用の方は、以下の①~②に回答してください。 ①オリコへの申し込み日(月日) ②次のうち該当する入学区分に□を入れてください。 <table border="1"> <tr> <td>入学区分</td> <td>入学時学費</td> <td>チェック欄</td> </tr> <tr> <td>入学資格取得生</td> <td>87,000円</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> 2200				入学区分	入学時学費	チェック欄	入学資格取得生	87,000円	<input type="checkbox"/>
入学区分	入学時学費	チェック欄							
入学資格取得生	87,000円	<input type="checkbox"/>							
上記の障がい欄に該当しない方で、科目修得試験、スクーリングを受験・受講するにあたって、健康状態について本学に伝えたいことがある場合は、入学志願書と一緒に医師の診断書をご提出いただくとともに、以下に概略をご記入ください。  大学使用欄  個人 000000 国分 1 ※併修校記入欄 学校名 学校コード 2 大学短大区分 2 取扱者印									

## II. 学費等

### (1) 入学時の学費

(単位：円)

学費内訳費目	1年次入学	2年次 編入学	再入学	本学卒業生の親族	
				1年次入学	2年次編入学
入学時 諸費	書類選考料	10,000	10,000	免除	10,000
	入学金	30,000	30,000	免除	免除
	編入料	—	20,000	—	20,000
授業料(年額)		180,000 (テキスト代、リポート代(およびリポート添削料)、科目修得試験受験料、スクーリング受講料を含む)			
合計(年額全納額)		220,000	240,000	180,000	190,000
↓ 2回に分けて納入する場合の「入学時の納入額」と「2回目の納入額」↓					
分納の 場合	入学時納入	130,000	150,000	90,000	100,000
	2回目納入	90,000	90,000	90,000	90,000

※ 授業料は分納可 (2回目の納入時期: 4月期入学生は8月20日、10月期入学生は翌年2月20日)。払込用紙は別途発送します。

※ 受験・受講した科目が不合格となり、リポートの再添削を受ける場合、科目修得試験を再受験する場合、スクーリングを再受講する場合の費用も授業料に含まれています。

※ 特設スクーリング・iNetスクーリングは、別途受講料が必要になります。

※ その他、学費に係る費用(パソコン代、文房具代、交通費等)は各自ご負担となります。

### (2) 学費の留意事項

次年度以降の授業料	進級時の授業料は、学期(6か月)ごとに90,000円。(2年次編入学の方は除く)
留年時の授業料	留年時の授業料は、学期(6か月)ごとに90,000円。
卒業時に必要な費用	卒業諸費6,000円程度、校友会費10,000円(終身会費)*
追加履修費	<p>1単位当たり5,000円</p> <p>*追加履修とは、選択したコースの配本科目以外の科目を履修登録することです。</p> <p>*追加履修手続きの際はクレジットカードが必要になります。</p> <p>*追加履修費には、テキスト代、リポート代(およびリポートの添削料)、科目修得試験の受験料、スクーリングの受講料が含まれます。</p> <p>*履修登録の単位数の上限は、各学年とも追加履修分を含め44単位です。</p>
海外在住者	教材の送料を別途ご負担いただきます。
学費の返金 (返金の際の振込手数料は、 ご負担いただきます)	<p>*入学不許可の場合 学則の定めにより入学審査をした結果、入学不許可となった場合は、書類選考料を除いて返金いたします。</p> <p>*入学辞退の場合 入学手続き完了後(入学審査完了後)に入学辞退を希望する場合は、授業料のみ返金します。なお、入学辞退の受付は、4月期入学生は4月30日、10月期入学生は10月31日を期限とします。</p>
シニア奨学生制度 (満60歳以上の方が対象)	<p>*入学時(4月期入学生は4月1日現在、10月期入学生は10月1日現在)の年齢が満60歳以上の方で、正科生として入学する方には、シニア奨学生を給付します。</p> <p>*奨学生(90,000円/年間)は、入学時の授業料に充当します。</p> <p>*上野通教奨学生と校友会奨学生の採用、並びに本学または産業能率大学を卒業した方の配偶者、子女、父母および兄弟姉妹に適用する入学金の免除は、シニア奨学生以外の方を対象とします。</p>

※ 科目等履修生の学費については、P.22 参照

※ 入学資格取得生の学費については、P.28 参照

#### ※自由が丘産能短期大学校友会とは

産能短期大学(1950年～1988年)・産能短期大学(1989年～2005年)・自由が丘産能短期大学(2006年～)の卒業生同士の親睦を深め、自己研鑽を図るとともに、母校の発展に貢献することを目的とした卒業生の集まりです。全国に支部を設置し、講演会や学習会、懇親会、女子会を開催するなど、さまざまな活動を実施しています。また、校友会奨学生制度(給付総額は年10万円で一人当たり5万円)も設け、在学生の学習を支援しています。本課程の学生は、卒業と一緒にご入会いただきます。詳細は、卒業時に別途ご案内します。

## 学費サポートプラン

### (1) 本制度の概要

本制度は、本学と株式会社オリエントコーポレーション（以下、「オリコ」といいます。）との提携による学費分割払制度です。利用者はオリコとローン契約を結びます。

学費サポートプランを利用される場合は、必ず出願前にP.31～32でご案内している「(5) オリコへの申込方法（①～⑥）」に従ってお申し込みください。

支払額	毎月の支払額は、6,000円以上で千円単位で指定できます。 毎月の支払額により、返済期間が調整されます。 (在学中は、分割手数料のみ支払の「ステップアップ返済」もあります。詳しくはオリコにお問い合わせください。)
ボーナス加算払い	利用金額の50%以内でボーナス加算払いを併用することも可能です。
分納手数料	2020年度の実質年率は3.9%です（固定）。
支払方法	毎月の支払額は、原則として、契約の翌月から毎月27日にご指定の預金口座から自動引き落としされます。
進級時の授業料	進級時または留年時の授業料についても本制度をご利用いただけます。 追加利用の場合は再度お申し込みが必要ですが、毎月の支払額は、前回利用の支払い分と重複せず一定額で支払うことができます。

### (2) 学費サポートプランによる分割支払例（2020年度の実質年率3.9%）（固定）

（単位：円）

返 済 方 法	項 目	1年次入学	2年次編入学	再入学	本学卒業生親族	
					1年次入学	2年次編入学
	入学時学費合計	220,000	240,000	180,000	190,000	210,000
毎月均等払	毎月分納額	19,000	21,000	16,000	17,000	18,000
	支払回数	12回	12回	12回	12回	12回
	最終回支払額	15,609	13,971	7,670	6,853	16,431
	支払総額	224,609	244,971	183,670	193,853	214,431
	ローン手数料	4,609	4,971	3,670	3,853	4,431
ボーナス併用払	毎月分納額	10,000	11,000	10,000	10,000	10,000
	ボーナス月加算額	55,000	60,000	35,000	40,000	50,000
	支払回数	12回	12回	12回	12回	12回
	最終回支払額	4,393	3,774	3,594	3,793	4,192
	支払総額	224,393	244,774	183,594	193,793	214,192
	ローン手数料	4,393	4,774	3,594	3,793	4,192

※ボーナス併用払いは、3月に申し込み、ボーナス返済月を6月と12月に設定した場合の例です。

※入学資格取得生の方も学費サポートプランを利用できます。

- ・入学時の「学費サポートプラン」のローン契約額は、年額の全納額（入学時学費合計）分となります。
- ・書類選考の結果、入学不許可になった場合は、ローン契約も不成立となります。
- ・学費サポートプランの契約成立後は、退学等を理由にしたローン契約の解約はできませんので、ご留意ください。

### (3) 手続方法はインターネット（web）からのご利用になります。

※インターネットを利用できない方やご相談は、以下の「オリコ学費サポートデスク」までお電話でお問い合わせください。電話番号：0120-517-325（受付時間：平日・土日祝9:30～17:30）

## (4) 「学費サポートプラン」の利用申請期限について

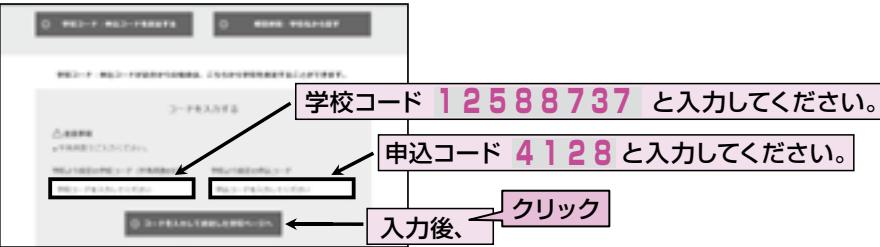
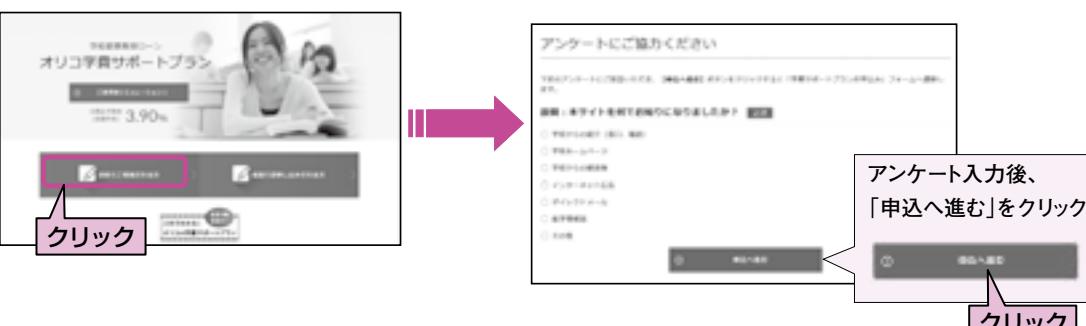
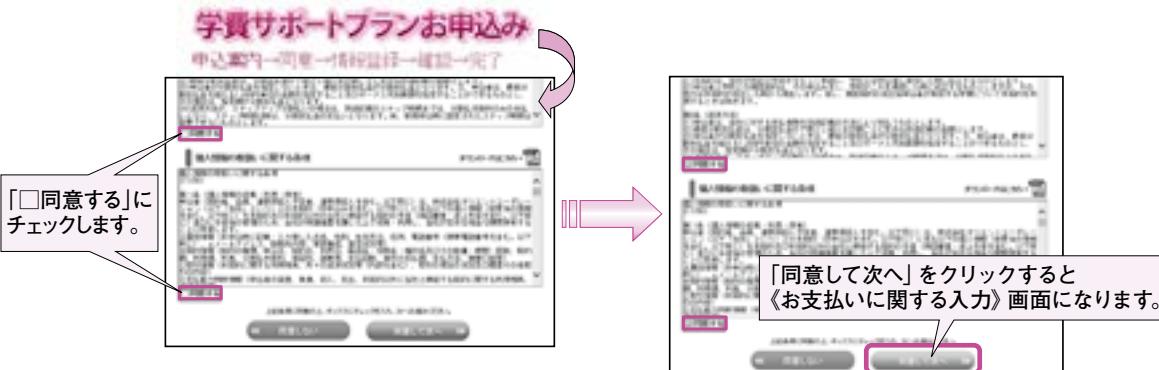
「学費サポートプラン」の利用を希望する場合は、審査に時間を要するため、以下のとおりオリコへの申し込み期限を設けています。

2020 年度 4 月期入学の方  
4 月 17 日 (金) まで

2020 年度 10 月期入学の方  
10 月 16 日 (金) まで

## (5) オリコへの申込方法 (①~⑥)

Webから学費サポートプランを申し込みいただき、入学志願書原本（インターネット出願の場合は不要）を本学へ送付してください。

- ①  <http://orico-web.jp/gakuhi/index.html>  
へアクセス
- ② 「学校を検索する」をクリックして「学校コード」と「申込コード」を半角英数で入力してください。  

- ③ 専用ページ右上の「お申込はこちら」をクリックしてください。  

- ④ 学費サポートプランお申込み画面に進みます。  

- ⑤ 《情報登録》画面の必須項目を入力してください。  

《情報登録》画面の【学費サポートプラン利用対象に関する情報】の学部・学科、在学区分 / 学籍（受験）番号等に関する内容は [P.32](#) をご参照ください。

必須項目A～Eは以下の要領で入力後、「次へ進む」をクリックしてください。

A 学部・学科・コース	国際	(国)文学部 英文学科(全専) 「新入生」を選択	能率科(コース名の入力は不要です)
B 在学区分/学籍(受験)番号	国際	○在学生 <input checked="" type="radio"/> 新入生 ○受験生(予約受付) (例)001234567(英数字半カナ) 学籍(受験)番号	※ご入力の際はハイフン(ー)なしで入力してください。 ※英語を入力する場合は大文字(A→O a→x)、漢字は片(分→フ)で入力してください。
振込人振替コード	任意	振込人振替コード	入学志願書(表面)右下の志願書番号No(10桁)を入力してください。
C 学納金の納付期日	国際	(例)2011 4 23 年 月 日	・学納金の納付期日 4月期入学の方:2020年 4月30日 10月期入学の方:2020年10月31日
D 入学(予定)年月日	国際	(例)2011 4 23 年 月 日	・入学(予定)年月日 4月期入学の方:2020年 4月1日 10月期入学の方:2020年10月1日
E 卒業予定年月	国際	(例)2011 4 23 年 月 日	卒業予定年月 学費サポートプランは当該学校の卒業予定年月です。
・卒業(予定)年月日		4月期入学の方: (1年次入学) 2022年3月 (2年次編入学) 2021年3月 10月期入学の方: (1年次入学) 2022年9月 (2年次編入学) 2021年9月	例:志願書番号(10桁)が「2200 123456」の場合 学籍(受験)番号 <b>2200123456</b> と入力します。

⑥《確認》、《完了》画面に進み、ローンの申し込みを完了してください。

(6) 上記①～⑥の手続完了後、すぐに入学志願書を含む書類一式を本学へ送付

※出願は、オリコの審査完了を待つ必要はありません。

※入学志願書類を受け取り、本学がオリコから学費の入金確認ができれば手続き完了です。

※オリコからの入金確認ができない場合、出願から2週間後に学生証を発送できないことがあります。

webからの申し込み情報をもとにオリコが審査します。

オリコから入学志願者と保証人の方へ利用に関する意思確認の電話を差し上げます。

その際、入力内容に不備がある場合は、オリコからその旨案内があります。

※「学費サポートプラン」を申し込まれたすべての方に、オリコから電話による意思確認がありますので、必ずお受けください。意思確認ができない場合、ローンの承認および入学手続が保留となります。

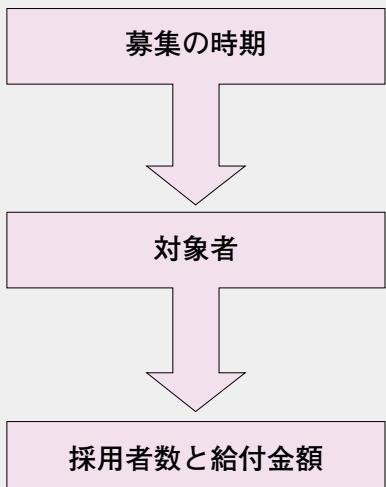
※電話にお出にならない場合、留守番電話にはメッセージを残しません。着信履歴を見て、折り返しオリコへ電話してください。

※審査の結果、利用不可の場合は、郵便局の払込取扱票(入学志願書に同封)で学費を納入してください。

## 「上野通教奨学金制度」と「自由が丘産能短期大学校友会奨学金制度」

本学には、返済義務のない2つの給付奨学金制度があります。積極的にご応募ください。

「上野通教奨学金制度」とは創立者上野陽一を記念して設けられたもので、学業成績が優秀で経済的理由により修学が困難な方への支援を目的として、選考の上、授業料等に充てる資金を奨学金として給付する制度です。 「自由が丘産能短期大学校友会奨学金制度」とは、本学の名誉と発展に寄与する優秀な学生に対して、経済的な支援を目的として、選考の上、授業料等に充てる資金を奨学金として給付する制度です。



### 上野通教奨学金制度（年2回）

■募集時期：第1回—5月（予定）、第2回—11月（予定）

■対象者：正科生として在学中の方。ただし4月（前学期）に入学した方は2020年度第2回から、10月（後学期）に入学した方は2021年度第1回から対象になります。

■採用者数：各回、1・2年生とも各6名以内、合計24名以内。

選考結果を通知するとともに、奨学生として採用された方には90,000円の奨学金を給付（銀行振込）します。

### 校友会奨学金制度（年1回）

■募集時期：5月（予定）

■対象者：正科生として2年次に在学中の方で、所定の修業年限での卒業が見込まれる方。

■採用者数：2名

選考結果を通知するとともに、奨学生として採用された方には50,000円の奨学金を給付（銀行振込）します。

#### ■選考基準

過去1年間に30単位以上（入学後、半年間が経過した時点で応募する場合は15単位以上）を修得し、成績評価（S、A、B、C、F）を基に所定の数式で算出するGPA（Grade Point Average）が2.4以上の方を対象に、経済的理由を加味して選考します。詳細については、募集時期に合わせてiNetCampusでご案内します。

※「シニア奨学金制度」を利用して入学された方を除きます。

## 日本学生支援機構の奨学金制度（返還義務あり）

詳細については、iNetCampusでご案内します。

■在学届の提出：2020年4月10日（本学必着。後学期入学生は、事前にご相談ください。）

以前、他の学校等で日本学生支援機構（旧日本育英会）の奨学金の貸与を受けていた方が、本学への進学により「在学猶予」を希望する場合は、日本学生支援機構が指定する「在学届」に必要事項を記入のうえ、期限までに本学へご送付ください（入学志願書類に同封でも可）。

#### シニア層を対象とした給付奨学金制度について（ご案内）

本学の通信教育課程は、シニア層の経済的な負担を軽減し、学習を支援するためのシニア奨学金制度を設けています。

対象者は、正科生として入学する方（編入学者と再入学者を含む）のうち、入学時（4月期入学者は4月1日現在、10月期入学者は10月1日現在）の年齢が満60歳以上の方で、入学後の1年間にわたり授業料相当額の半額（2020年度の入学者は90,000円／年間）をシニア奨学金として給付します（返還は不要です）。

奨学金の給付は、学納金から給付額を差し引く方式としますので、入学志願時は書類選考料（10,000円、ただし再入学生は不要）、入学金（30,000円、ただし再入学生は不要）、編入料（20,000円、ただし編入生のみ該当）のみを納入してください。なお、70歳以上の方は、入学志願書と一緒に、医療機関による健康診断書（6か月以内に受診したもの／コピー可）のご提出をお願いする場合があります。

\* 本学で過去にシニア奨学金制度を利用された方を除きます。

\* 上野通教奨学生と校友会奨学生の採用、並びに本学または産業能率大学を卒業した方の配偶者、子女、父母および兄弟姉妹に適用する入学金の免除は、シニア奨学生以外の方を対象とします。

\* シニア奨学金を利用される方は、インターネット出願は受け付けていません。郵送でご出願ください。

### III. 入学前の技能審査等の合格に係る学修の単位認定（再入学・2年次編入学を除く正科生対象）

- 技能審査等の合格者に対し、30単位を上限（入学前の他の大学・短期大学等における既修得単位、本学の科目等履修生としての既修得単位の認定単位数を含む）に認定し、卒業に必要な単位に算入します。ただし、他の大学、短期大学等で既に単位認定されている技能審査等は、認定の対象としません。
- 申請期間 4月期入学生：2020年5月20日～31日 10月期入学生：2020年11月20日～30日
- 単位認定を希望する場合は、P.37の申請手続きの流れを参照し、手続きをお取りください。  
申請書類は学生証と一緒に送付します。

#### ●単位認定の対象とする技能審査等の名称と単位認定対象授業科目（2020年度）

分野	名称と実施団体名	基準	授業科目区分		単位認定対象授業科目 (○囲み数字は単位数を表す)	認定 単位数
			教養 教育	専門 教育		
経理	簿記検定 (日本商工会議所)	1級	●		簿記検定 I～IV②②②②	8
		2級	●		簿記検定 I～II②②	4
		3級	●		簿記検定 I②	2
FP	簿記能力検定 (公社)全国経理教育協会	上級	●		簿記検定 I～IV②②②②	8
		1級	●		簿記検定 I～II②②	4
		2級	●		簿記検定 I②	2
FP	簿記実務検定 (公財)全国商業高等学校協会	1級	●		簿記検定 I②	2
		2級	●			
		3級	●			
FP	ファイナンシャル・プランニング技能検定 (一社)金融財政事情研究会、NPO法人日本FP協会	1級	●		FP技能検定 I～III②②②	6
		2級	●		FP技能検定 I～II②②	4
		3級	●		FP技能検定 I②	2
FP	ファイナンシャル・プランナー (NPO法人日本FP協会)	CFP®*	●		FP技能検定 I～III②②②	6
		AFP	●		FP技能検定 I～II②②	4
		2級	●		秘書技能検定 I②	2
FP	秘書技能検定 (公財)実務技能検定協会	準1級以上	●		秘書技能検定 I②、秘書実務 I～II②②	6
		2級	●		秘書技能検定 I②	2
		3級	●			
FP	ビジネス能力検定 ジョブパス (旧・ビジネス能力検定) (一財)職業教育・キャリア教育財団 (旧・専修学校教育振興会)	2級以上	●		ビジネス文書&メールの書き方②、仕事をマネジメントする②	4
		3級	●		ビジネス文書&メールの書き方②	2
		2級	●			
FP	ソーシャル検定 (全国自動車大学校・整備専門学校協会)	上級	●		ビジネス文書&メールの書き方②、仕事をマネジメントする②	4
		中級	●		ビジネス文書&メールの書き方②	2
		1級	●			
FP	リテールマーケティング (販売士)検定 (旧・販売士検定) (日本商工会議所)	2級	●		販売士検定 I～III②②②	6
		3級	●		販売士検定 I～II②②	4
		1級	●		販売士検定 I②	2
FP	ビジネス実務法務検定® (東京商工会議所)	2級以上	●		ビジネス実務法務検定 I～II②②	4
		3級	●		ビジネス実務法務検定 I②	2
		2級	●			
FP	情報技術者試験 (旧・情報処理技術者試験第二種) (独)情報処理推進機構	合格	●		情報技術者試験 I～II②②	4
		1級	●			
FP	応用情報技術者試験 (旧・ソフトウェア開発技術者試験) (旧・情報処理技術者試験第一種) (独)情報処理推進機構	合格	●		情報技術者試験 I～III②②②	6
		2級	●			

\*ビジネス実務法務検定®は東京商工会議所の登録商標です。

CFP®はFINANCIAL PLANNING STANDARDS BOARD LTD (FPSB) の登録商標です。

分野	名称と実施団体名	基準	授業科目区分		単位認定対象授業科目 (○囲み数字は単位数を表す)	認定 単位数
			教養 教育	専門 教育		
コンピュータ・情報活用	情報セキュリティマネジメント試験 ((独) 情報処理推進機構)	合格		●	情報活用試験 I ~ II ②②	4
	IT パスポート試験 ((旧・初級アドミニストレータ試験) ((独) 情報処理推進機構)	合格		●	情報活用試験 I ②	2
	情報活用試験 ((旧・情報処理活用能力検定準2級以上) ((一財) 職業教育・キャリア教育財団)	1級		●	情報活用試験 I ②	2
英語(母国語以外の方のみ対象とします)	実用英語技能検定 ((公財) 日本英語検定協会)	1級	●		基礎英語( I )②、基礎英語( II )②	8
				●	TOEIC テスト リスニング②、 TOEIC テスト リーディング②	
		準1級	●		基礎英語( I )②、基礎英語( II )②	6
				●	TOEIC テスト リスニング②	
	TOEIC® Listening & Reading Test* ((一財) 国際ビジネスコミュニケーション協会)	2級	●		基礎英語( I )②、基礎英語( II )②	4
				●	基礎英語( I )②	
		準2級	●		基礎英語( I )②	2
				●	基礎英語( I )②、基礎英語( II )②	
	TOEIC® Speaking Test* ((一財) 国際ビジネスコミュニケーション協会)	800 以上	●		基礎英語( I )②、基礎英語( II )②	8
				●	TOEIC テスト リスニング②、 TOEIC テスト リーディング②	
		700 以上	●		基礎英語( I )②、基礎英語( II )②	6
				●	TOEIC テスト リスニング②	
		600 以上	●		基礎英語( I )②、基礎英語( II )②	4
		450 以上	●		基礎英語( I )②	2
	TOEIC® Writing Test* ((一財) 国際ビジネスコミュニケーション協会)	150 以上	●		基礎英語( I )②、基礎英語( II )②	8
				●	TOEIC テスト リスニング②、 TOEIC テスト リーディング②	
		140 以上	●		基礎英語( I )②、基礎英語( II )②	6
				●	TOEIC テスト リスニング②	
		110 以上	●		基礎英語( I )②、基礎英語( II )②	4
		100 以上	●		基礎英語( I )②	2
生活・サービス	日本漢字能力検定 ((公財) 日本漢字能力検定協会)	準1級以上	●		日本漢字能力検定 I ~ II ②②	4
		2級	●		日本漢字能力検定 I ②	2
	カラーコーディネーター検定試験®* (東京商工会議所)	2級以上	●		カラーコーディネーション②	2
	色彩検定 ((公社) 色彩検定協会)	2級以上	●		カラーコーディネーション②	2
	食生活アドバイザー® 検定* ((一社) FLA ネットワーク協会)	2級以上	●		食生活アドバイザー検定②	2
	サービス介助士検定 ((旧・サービス介助士2級) ((公財) 日本ケアフィット共有機構)	合格		●	サービス介助士検定②	2
	福祉住環境コーディネーター検定®* (東京商工会議所)	2級以上		●	福祉住環境の考え方と実践②、 福祉住環境コーディネーター検定 I ②	4
		3級		●	福祉住環境の考え方と実践②	

\* TOEIC® は米国 Educational Testing Service (ETS) の登録商標です。

食生活アドバイザー®は(一社)FLAネットワーク協会の登録商標です。

カラーコーディネーター検定試験®、福祉住環境コーディネーター検定試験®は東京商工会議所の登録商標です。

分野	名称と実施団体名	基準	授業科目区分		単位認定対象授業科目 (○囲み数字は単位数を表す)	認定 単位数
			教養 教育	専門 教育		
生活・サービス	総合旅行業務取扱管理者試験 ((一社)日本旅行業協会)	合格		●	旅行業務取扱管理者試験 I ~ II ②②	4
	国内旅行業務取扱管理者試験 ((一社)全国旅行業協会)	合格		●	旅行業務取扱管理者試験 I ②	2
	介護支援専門員(ケアマネジャー) (都道府県の福祉関連部署)	登録者		●	介護支援専門員⑧	8
	介護福祉士実務者研修 (厚生労働省老健局)	修了		●	介護福祉士実務者研修④	4
	介護職員初任者研修 (厚生労働省老健局)	修了		●	介護職員初任者研修②	2
国家試験	税理士試験* (国税庁 国税審査会)	科目合格*		●	税理士試験⑩	10
	看護師試験 (厚生労働省 医政局)	合格		●	看護師試験⑩	10
	歯科衛生士試験 ((一財)歯科医療振興財団)	合格		●	歯科衛生士試験⑩	10
	介護福祉士試験 ((公財)社会福祉振興・試験センター)	合格		●	介護福祉士試験⑧	8
	保育士試験 ((一社)全国保育士養成協議会 保育士試験事務センター)	合格		●	保育士試験⑥	6
	宅地建物取引士試験 ((一財)不動産適正取引推進機構)	合格		●	宅地建物取引士試験④	4
	自動車整備士試験 ((一社)自動車整備振興会)	1級		●	自動車整備士試験 I ~ V ②②②②②	10
		2級		●	自動車整備士試験 I ~ III ②②②	6
		3級		●	自動車整備士試験 I ②	2
	美容師試験 ((公財)理容師美容師試験研修センター)	合格		●	美容師試験⑩	10
	理容師試験 ((公財)理容師美容師試験研修センター)	合格		●	理容師試験⑩	10
	衛生管理者試験 ((公財)安全衛生技術試験協会)	第Ⅰ種		●	衛生管理者試験 I ~ II ②②	4
		第Ⅱ種		●	衛生管理者試験 I ②	2

\*税理士試験の合格について: 1科目の合格から申請できます (10単位認定)。ただし、今回10単位認定された方が、入学後に追加の科目合格があった場合、「入学後の技能審査等の合格に係る学修の単位認定」の手続きはできません。

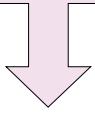
※旧名称での技能審査等の合格も同様に扱います。

### ●申請および認定に係る留意事項

- ・単位認定の対象となる授業科目の履修登録（コースの配本）がない場合でも申請できます。
- ・選択したコースの配本科目が単位認定された場合、単位認定後は当該科目のテキスト配本はありません。
- ・面接授業（スクーリング）単位としての認定は行いません。なお、単位認定後はスクーリングの受講はできません。
- ・本単位認定の申請と前後して単位認定対象授業科目の科目修得試験受験・スクーリング受講を申し込んだ場合、当該科目の修得試験・スクーリングを受験・受講することはできますが、単位認定は本制度分を優先します。

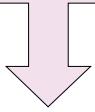
## 申請手続きの流れ

対象となる技能審査等と認定対象科目を確認する

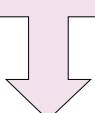


申請書類を準備する

- ①単位認定申請書
- ②合格証明書等のコピー



申請期間に本学に申請する  
(上記①②を本学に提出)



単位認定通知書の発送

対象者：再入学・2年次編入学を除く正科生

①「単位認定申請書」は、出願から約2週間後に学生証に同封して送付します。

②合格証明書等のコピーをご用意ください。

・合格証書

・合格証明書、修了証明書

・資格証、合格証、登録証、(国家資格の)免許証

・スコアシート (TOEIC®関連資格) など (実施団体等の印のあるもの)

区分	申請期間	対象となる技能審査等
4月期入学生	2020年5月20日～5月31日(必着)	2020年3月までに合格結果が出たもの
10月期入学生	2020年11月20日～11月30日(必着)	2020年9月までに合格結果が出たもの

(1)申請期間以外は受け付けできませんのでご留意ください。

(2)提出された書類はお返ししませんので、ご留意ください。合格証書等の原本を提出された場合も同様です。

(3)単位認定後に申請書類の虚偽・不正が発覚した場合、本単位認定を取り消します。

※2020年3(9)月までに受験して、2020年4(10)月1日以降に合格結果が出たものは、“入学後”の技能審査の申請時(年2回8月と2月)に手続きしてください。

単位認定通知書には、認定科目名と認定単位数が記載されています。4月期入学生は2020年7月上旬に、10月期入学生は2021年1月中旬にそれぞれ発送する予定です。

### Column 表彰制度

#### 表彰制度とは

##### ■ Student of the Year (正科生対象)

Student of the Yearとは、国家試験などの難関を突破した学生の功績をたたえるための制度です。正賞として証書を、副賞として本学創設者上野陽一のレリーフをかたどったメダルを授与します(申請要項等の詳細については、募集時期に合わせてiNetCampus等でご案内します)。

##### ■卒業表彰

卒業表彰とは、自由が丘産能短期大学学則第65条(表彰)にもとづき、本短期大学を卒業する学生で、学業、人物とも優秀な方、または学内外における諸活動において本短期大学に貢献したと認められる方等(団体を含む)を表彰する制度です。選考は、3月と9月の卒業期ごとに行い、受賞者には、学位授与式において賞状と記念品を授与します。

##### ●上野陽一賞

在学期間中の学業成績が優秀であり、人物が優れ、特に他の模範となり得る方。

##### ●優秀賞

在学期間中の学業成績が優秀であり、人物が優れ、他の模範となり得る方。

##### ●功労賞

大学行事、自治会活動、サークル活動、学生会活動、ボランティア活動等に貢献し、著しい成果をあげた方または団体。

## IV. 学習の開始時期について

教材と学生証がお手元に届きましたら、テキストによる学習を開始してください。

ただし、スクーリングを受講、科目修得試験を受験するためには、本学へ入学後、別途所定の手続が必要です。以下にご案内する締切日や申込期間をご参照の上、手続きをお取りください。ご出願をいたいたいた時期によっては、お申し込みが間に合わない科目修得試験やスクーリングがありますので、ご留意ください。

\*リポートの提出は、4月期入学生は4月1日から、10月期入学生は10月1日から受け付けます。

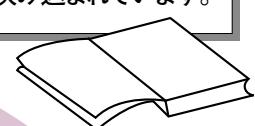
### 【教材・学生証発送】

- 出願から約2週間後に、教材は宅配便、学生証は簡易書留で発送します。

\*学費サポートプランをご利用の方は、審査の許可が下りてから約2週間後に発送します。

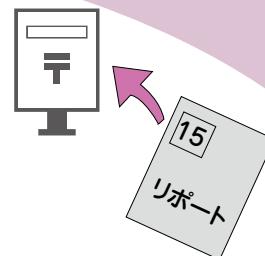
### 【学習開始】

- スクーリングや科目修得試験の申込期間などを確認します。
- リポートは、テキストに挟み込まれています。



### 【科目修得試験の申し込み】

- 科目修得試験の受験は、事前にリポートに合格していることを要件としています。
- 試験期ごとのリポート締切日までに提出してください(リポートの提出は、4月期入学生は4月1日、10月期入学生は10月1日から受け付けます)。



#### 『4月期入学生』(2020年度分)

科目修得試験	区分	日程
6月期(Web試験) 6月20日～26日	リポート締切	5月6日(水)
	試験申込期間	5月22日(金)～5月26日(火)
8月期(8月30日(日))	リポート締切	7月1日(水)
	試験申込期間	7月17日(金)～7月21日(火)

#### 『10月期入学生』(2020年度分)

科目修得試験	区分	日程
12月期(Web試験) 12月5日～11日	リポート締切	10月21日(水)
	試験申込期間	11月6日(金)～11月10日(火)
2月期(1月31日(日))	リポート締切	12月2日(水)
	試験申込期間	1月1日(金)～1月5日(火)

### 【スクーリングの申し込み】

- 申込期間は、スクーリング実施月の前々月21日～前月8日です。開講予定科目はインターネット(本学ホームページ)でご案内します。

インターネットによる  
申し込み



## V. 学生メール配信サービス

## 【概要】

本学から携帯電話やスマートフォンのメールアドレスに、学習や事務連絡に関する情報をタイムリーに配信します。「科目修得試験・スクーリングの申込期間に関するお知らせ」「各種書類送付に関するお知らせ」「災害等緊急時のお知らせ」など、みなさんのお役に立つ情報です。

入学志願書にメールアドレスを記入された方のみ、本サービスへの登録を行っています。記入（＝サービス申込）は任意ですが、自由に解除ができますのでぜひご利用ください。

なお、このメール配信サービスは本学から学生へ一方向の情報提供です。配信されたメールへの返信はできません。

配信サービスの利用を希望し、メールアドレスをご記入いただいた場合、在学中にご利用いただく本学の学生ポータルサイトの iNetCampus へのメールアドレス登録も同時に行います。

## 【利用方法】

入学志願書の「携帯Eメールアドレス」欄に、携帯電話もしくはスマートフォンのメールアドレスをご記入ください。入学許可と同時に本学がメールアドレスおよび学生番号等を登録します（登録が完了すると確認のメールが配信されます）。

※入学許可後（学生証到着後）、2週間以上メールが配信されない場合は、記入したメールアドレスに「/」を使用しているなど正確に登録されていない可能性があります。その場合は、入学時にお送りする「学習のしおり」で登録手順をご案内していますので、各自で再登録をお願いいたします。なお、誤登録を防止するためにも、「0（ゼロ）と o（オー）」など紛らわしい英数字については、明確に区別して記入をお願いします。

※登録の解除を希望する場合は、配信されたメールから、いつでも解除の操作をすることができます。

※登録・解除時の通信費およびメール受信料以外の料金はかかりません。

### 【留意点】

- ・本サービスへのご登録（志願書へのメールアドレス記入）の際は、必ず本要項の「個人情報の取り扱いについて」をお読みいただき、その内容を確認・同意いただいたうえでご記入ください。
- ・配信する情報は、iNetCampus 等で確認できる情報です。本サービスへの登録を行わないことで不利益が生じることはできません。
- ・ご利用の携帯電話等で受信拒否等の着信設定を行っている場合は、(@hj.sanno.ac.jp) ドメインの受信許可設定を予め行ってください。
- ・緊急時の情報など内容をすぐに確認していただくため、学生メール配信サービスには必ず携帯電話やスマートフォンで確認できるメールアドレスを記入してください。
- ・ご記入いただいたメールアドレスは「学生メール配信サービス」と「iNetCampus」の両方に登録されます。変更がある場合は、以下の内容をご確認いただき、それぞれの内容をご自身で変更してください。

# VI. 科目等履修生が入学時に選択できる授業科目の一覧

## 索引(授業科目区分別五十音順)

科目等履修生が、入学時に選択できる授業科目の一覧です。

授業科目の概要は、確定次第、ホームページでご案内いたします。

4月期入学(願書受付期間: 1月10日~4月30日書類必着)にて□の授業科目をご検討されている方は、テキストの発送が遅れる場合がございます。その結果、8月までの科目修得試験が受験できなくなることが予想されますので、科目選択時にはご留意願います。

科目コード	授業科目名	単位数	科目等履修生の受講料	授業科目の概要
教養教育科目				
あ				
GA46	異文化コミュニケーション論	2	10,000円	自分と異なる文化に属する相手を尊重するという、異文化コミュニケーションのエッセンスを理解し、相互理解に必要な知識の習得を目指す。
か				
FB61	環境論入門	2	10,000円	環境分野の基礎的な「知識(理論)」と社会的な動向である「フィールド」を組み合わせて学習を進めていく。
FC71	基礎英語(Ⅰ)	2	10,000円	解説部分を丁寧に読み、演習問題をしっかりやってみることにより、基本的な文法の復習も知らず知らずのうちに身につく。
FC72	基礎英語(Ⅱ)	2	10,000円	社会、ビジネス、産業といったテーマが多く、社会人が日常、読み、話し、書くものに慣れるうえで格好の科目である。
GA27	教養としての音楽史入門	2	10,000円	クラシック音楽のルーツや歴史(西洋音楽史)を五つの時代に分け、いろいろな作曲家が残した作品を通して理解と親しみをより深める。
FB71	経済学	4	20,000円	消費行動と企業活動の理論ミクロ経済学と、広く・大きく一国全体として、生産と消費、政府の経済政策を見ていくマクロ経済学を学んで行く。
GA34	コミュニケーション論	2	10,000円	第1・2章では、コミュニケーションの基礎的理論を学習し、第3・4章では「交流分析」と「ソーシャル・スタイル」という実践的手法を用いて豊かな対人関係のあり方を学習する。
さ				
GF01	産業能率大学とマネジメント	1	5,000円	本学の創立者上野陽一の足跡を振り返り、マネジメントの思想と理念、実践的重要性、そして本学建学の精神を正しく理解する。
GA09	仕事をマネジメントする	2	10,000円	P D C Aサイクルをもとに、中堅社員として求められる課題づくりと目標の設定、仕事の的確な推進と問題解決能力の知識とスキルを習得する。
FB67	自然科学概論	2	10,000円	1.自然科学の考え方、2.自然科学の各分野における基本的事項を理解する。微分や積分を知らないても理解できるよう配慮している。
GA36	社会学概論	2	10,000円	社会学の誕生から現代の社会学者たちの学説を学習する。身近な社会問題を取り上げて、社会学的な視点で考察することで理解を深めていく。

1年次	科目コード	授業科目名	単位数	科目等履修生の受講料	授業科目の概要
2年次	さ				
	GA16	社会人の常識とマナー	2	10,000 円	ビジネスパーソンにとって必要な社会常識やビジネスマナーの基本を学習し、効果的に身につけることを目標とする。
	FB60	小論文の書き方入門	2	10,000 円	書くための準備、文章の組み立て方、表現の仕方、資料の集め方等について、順を追って習得していく。心をとらえる文章などについても学習する。
1、2年次	GA33	女性のためのキャリア・デザイン	2	10,000 円	家庭や地域社会など様々な場面における役割の相対としてのマルチ・キャリアについて多面的に考え、キャリア・デザインをしていく。
	GA42	女性のためのマナー&ライフ	2	10,000 円	自らの将来予測を立て、逆算して現在何をすべきかを検討していく。社会保障、各種の社会資源などの知識や利用法を身につける。
履修生等	GB02	心理学	4	20,000 円	心理学の全般的な知見を身につけ、さらに実生活での難問を解決する糸口として、洞察力を磨き、意思決定力を磨くことを目指す。
入学資格	GA41	人生の転機を考える	2	10,000 円	「トランジション」の考え方やアプローチを理解し、充実したキャリア、幸せな人生を切り開いていく上での様々な観点を学習する。
学費等	FD23	ストレスとこころの健康	2	10,000 円	臨床心理学の視点から、ストレスの定義と原因や、ライフサイクルの各ステージで起こりやすいストレス等について整理する。
の技能審査等	GA03	世界の歴史	2	10,000 円	世界の枠組みが四大文明から世界の諸地域へ広がり「近代国家（国民国家）」が誕生する。既存の世界史とは異なった体系から理解を深める。
メール配信	FB76	創造性の開発	4	20,000 円	創造性は社会にとっても個人にとっても、貴重で重要な資質・能力である。能力開発の中でも際立つて今日的 requirement にこたえるテーマである「創造性開発」について学習する。
学習開始	GA47	孫子に学ぶ戦略と戦術	2	10,000 円	『孫子』が、単なる戦略・戦術の兵法書としてではなく、人間関係の書として、また、経営戦略の書としても読めることを学ぶ。
た					
全時間履修できる	GA23	大学での学び方	2	10,000 円	大学で学ぶためには、「聴く」「読む」「書く」「調べる」「整理する」「まとめる」「表現する」「伝える」「考える」「疑問を持つ」大切な学習技術を学ぶ。
個人情報取扱料	GA45	哲学入門	2	10,000 円	哲学・思想の主要なコンセプトの一端に触れ、実生活において現状を正確に把握し、自分自身で考え直す力を養うことを目的とする。
な					
出願手続き	GA38	日本の伝統文化と作法	2	10,000 円	教養力のひとつとして、日本固有の文化・作法・慣習について、日本人として知っておきたいポイントを幅広く学んでいく。
紹介制度	GA06	日本の文学とことば	2	10,000 円	古代から現代までの日本の文学をそれぞれの時代との関連性において考察し、日本の文学についての認識を深めることを目指す。
入学者	GA35	日本の歴史	2	10,000 円	古代・中世・近世・近代・現代の各段階からテーマや人物などについて考察する。また、新たに起った芸能や芸術がどのように洗練され体系化されていったのかについても学習する。

科目コード	授業科目名	単位数	科目等履修生の受講料	授業科目の概要
は				
GA30	人を動かす	2	10,000円	D.カーネギーは、社会人として持つべき心構えを興味深い実例を持って説得力豊かに説明する。人間関係における深い人間洞察の重要性とヒューマニズムの根底について理解を深める。
GA21	PC ビジネス文書	2	10,000円	企業実務において、PCを利用してのビジネス文書の作成および作成した文書、資料の効率的な管理について学習する。
GA43	ビジネス文書＆メールの書き方	2	10,000円	ビジネスマナーやルールを踏まえたビジネス文書とビジネスメールの作成方法について学習する。
GA37	法学入門	2	10,000円	憲法からはじまる法律の体系を学習し、法律の全体構成を理解する。さらに、「六法」(憲法、民法、刑法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法)における基本的な考え方を学ぶ。
ま				
GA39	マーフィーの成功法則	2	10,000円	ジョセフ・マーフィーの理論を基に、潜在意識を活用してよりよい人生、思うとおりの人生を手に入れられるにはどうしたらよいかを実践的に学ぶ。
わ				
GA32	私たちの生活と環境リスク	2	10,000円	私たちが抱える生活環境に関するエネルギー問題や食の問題などの原因と結果、さらにそのリスクについて理解を深め、リスク低減のあり方について考察する。

専門教育科目				
あ				
HA71	アサーション（コミュニケーション技法）	2	10,000 円	ビジネスなどの実践の場において円滑な人間関係を築くための自己表現スキルの習得を目指す。
HH40	amazon の戦略に学ぶ	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HA61	e ビジネス概論	2	10,000 円	e ビジネスが既存のビジネスをどのように変え、どのような新たな企業戦略やビジネスモデルが生まれているかを理解する。
HH44	イラストで覚える TOEIC 英単語	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HH77	医療・福祉サービスマネジメント	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HH45	英会話のためのマインドセット	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HA81	英語で語る日本	2	10,000 円	日本の伝統文化や現代文化を紹介する英文と和訳を用いて、自らが日本文化への理解を深めると同時に、外国の方に伝えるための英語表現を学ぶ。
HH47	英語ビジネス・ミーティングの基本	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HA64	英文ビジネス・ライティング	2	10,000 円	英文ビジネスレターと英文 E メールを上手に書きあげるスキルを身につける。シンプルでまとまりのある文章を早く書き上げる技術を習得する。
か				
HH42	GAFA 四騎士が創り変えた世界	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HH54	会計の考え方	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HH55	会計の世界史	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。

科目コード	授業科目名	単位数	科目等履修生の受講料	授業科目の概要
か				
FE32	介護における人間理解	4	20,000 円	相互関係のなかで実現していく人間理解の視点に立ち、家族理解と援助方法、公的なホームヘルプサービスなど、現場における援助のあり方を学習する。
HH56	会社を強くする管理会計の知識	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HH57	学習心理学	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HH53	仮想通貨とブロックチェーンの知識	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HH92	家族心理学	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HH20	考える力をつける	2	10,000 円	合理的な問題解決や相手を納得させるコミュニケーションの基本となる論理的思考のための方法やスキルの習得を目指す。
HA84	企業家に学ぶ経営	2	10,000 円	企業を成長させてきた創業者・企業家の活動や、歴史的な背景を含めた企業活動を具体的な事例から学習する。ビジネスのポイントを学び取ることで、経営の基本的な知識を身につける。
HH38	基本キーワードで学ぶ心理学	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HH73	口がきれいだと健康で長生きできる	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HH58	教育心理学	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HH33	経営学入門	2	10,000 円	企業とは何かという基本的な問い合わせ始め、企業の仕組み、そして企業のさまざまな活動について、実際の企業の活動を踏まえつつ体系的に学習する。
HB04	経営思想の流れをつかむ	4	20,000 円	これまで企業経営に関する有用な理論や考え方がさまざま生まれてきた。著名な経営思想に触ることで、経営の理論と実践をより深く理解できる。
HH59	経営戦略を考える	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
GA40	経営のためのリベラルアーツ入門	2	10,000 円	リベラルアーツとは、「教養」を指すことばである。哲学的思索や文学作品を例に、学び方のヒントを提供する。
HH74	経済をわかりやすく学ぶ	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HH39	健康心理学	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
FV55	健康保険法	2	10,000 円	健康保険制度のしくみ、適用される者の範囲、保険料の負担方法、および各保険給付ごとの支給要件、支給額などを学習する。
HA83	現代企業にみる日本経済	2	10,000 円	企業の形態、組織構造、経営の仕組み、戦略、政府との関係などの様々な観点から、現代の企業とは何かについて明らかにしていく。
FV57	厚生年金保険法	2	10,000 円	被保険者、給付関係の理解を深めるとともに、厚生年金保険法独自の取り扱いの部分（老齢に関する保険給付など）についても学習する。
HA57	高齢者心理学	2	10,000 円	老年期における心理を幼児期から成人期までの発達段階での生き方を通して学んでいく。将来の自分の姿の投影として学ぶ。
HA55	高齢者の福祉	2	10,000 円	高齢者が自立期、虚弱期、要介護期、ターミナル期を通して、安心して生活を送るために必要な援助とは何かについて学習する。
FV56	国民年金法	2	10,000 円	被保険者関係、給付関係、保険料関係（保険料の額、免除、追納、前納等）が学習の中心となる。

科目コード	授業科目名	単位数	科目等履修生の受講料	授業科目の概要
か				
FV53	雇用保険法	2	10,000 円	求職活動を容易にするための「求職者給付」、再就職を援助する「就職促進給付」、などについて学習する。
さ				
HH66	財務諸表の知識	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HH25	時間活用術	2	10,000 円	日常生活や仕事上において起りがちな「ムリ」・「ムダ」・「ムラ」をなくすための時間管理の方法について学習する。
HH60	事業計画書の作り方	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HH75	資産運用と金融商品の基礎知識	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
FD22	社会心理学	2	10,000 円	コミュニケーションの種類と機能、集団リーダーシップ、他人への影響力、流言・群集・流行などの集合現象、文化の影響について理解を深める。
HA54	社会福祉とは何か	2	10,000 円	社会福祉に関する基本的な考え方や歴史変遷、近年の変革を学ぶを通して、「これから社会福祉」が発展していくために必要な知識を体系的に理解していく。
FV59	社会保険に関する一般常識	2	10,000 円	社会保険の概要、沿革をはじめ、社会保険関係法、社会保険制度の共通（相違）事項、社会保険の管理運営など、厚生行政一般について広く学習する。
HH61	社長業の基本	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HH62	社内プレゼンの資料作成術	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HH34	社労士の基本を学ぶ	2	10,000 円	社会保険労務士国家試験の内容、学習の方法、法律の基礎知識を学習したうえで、各試験科目の概要を理解する。
HH82	湘南ベルマーレの人づくりと組織づくり	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HH23	情報分析力を鍛える	2	10,000 円	社会人として情報を上手に活用するためのカギとなる情報解釈力の考え方を理解し、高め方を学ぶ。
HH78	人材マネジメント入門	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HA60	人事労務管理論	2	10,000 円	企業活動が求める人材を確保、育成し、人材が意欲的に仕事に取り組める環境を整備する人事労務管理の基本的な役割について学ぶ。
HH89	人生100年時代の健康づくりと社会保障	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HH91	人生100年時代の就労	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HH72	数字で考える力を鍛える	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
HH63	世界を読み解くための宗教学	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
FD42	説得・交渉力を高める	2	10,000 円	説得・交渉力の必要性、ロジカル・ネゴシエーションの手法、交渉の基本パターンと合理的な説得の技法、説得・交渉における戦略と戦術、交渉力を高める情報収集と意思決定の方法について、理解を深める。
HH14	説得の心理学	2	10,000 円	科学的根拠に基づいて、説得力を身につけるためのコツを、具体的なビジネスシーンに関連づけて、わかりやすく学ぶのが目的である。
HB03	組織マネジメント論	4	20,000 円	経営組織論の組織メンバーに焦点をあてた「ミクロ・アプローチ」、組織の構造そのものに焦点をあてた「マクロ・アプローチ」に基づいて学習する。

1年次	科目コード	授業科目名	単位数	科目等履修生の受講料	授業科目の概要
た					
	HH41	DaiGo に学ぶ超効率勉強法	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
	HH90	地域コミュニティ活動と社会貢献	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
	HH88	超高齢社会の展望と生き方	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
編2年次					
1、2年次					
	HH21	伝える力を伸ばす	2	10,000 円	自分の言いたいことを「わかりやすく」「的確に」伝えるための話し方や、相手にとってより理解しやすい説得力のある話し方の習得を目指す。
	HH29	ディズニーに学ぶ心くばりの技法	2	10,000 円	ディズニーの元トレーナーの著者から、仕事がうまくいくための心の持ち方やまわりを笑顔に変える言葉、気持ちが伝わる伝え方などの「心配り」について学ぶ。
履修科目等	HA94	TOEIC TEST リーディング	2	10,000 円	日常生活やビジネスの場で使われている英語表現を理解し、TOEIC®の問題形式に慣れることと問題演習を通して、リーディング能力全般の向上を目指す。
取得生資格	HA93	TOEIC TEST リスニング	2	10,000 円	TOEIC®のリスニングセクションのスコアアップを目指す人向けに書かれているテキストの問題を多く解き、繰り返し解説を読み、重要なポイントを押さえ、最終的に TOEIC® テストへの高得点を目指す。
学費等	HA75	ドラッカーに学ぶマネジメント	2	10,000 円	ドラッカーの著書『マネジメント：エッセンシャル版』を紐解きながら、自らの国、経済、社会、技術、市場、組織体、労働者が直面する課題を学習する。
の技能審査等	な				
	HH64	日本史で学ぶ経済学	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
	HH84	人間関係の心理学	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
	HH65	認知心理学	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
メール配信開始	は				
	FD20	発達心理学	2	10,000 円	発達心理学をベースに、「青年期の展開」、「発達の危機と阻害」、「生涯発達心理学の課題」について学習する。
選択科目等	HH46	バンクーバー発音の鬼が教えるネイティブ発音の極意	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
個人情報取扱	HH68	ビジネス数字力養成講座	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
出願手続き	HA72	ビジネス対話の技術	2	10,000 円	ビジネスの場において win-win の関係をつくり、成果を上げていくための協調的なコミュニケーションの方法を理解していく。
紹介制度	HH83	ビジネスに生かすコーチングスキル	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
	HH48	ビジネスフレームワークの活用	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
	FS73	福祉住環境の考え方と実践	2	10,000 円	高齢者や障害者のための住環境の整備にあたって、より安全・安心・快適で自立した生活を送れるよう、その基本技術を学習する。
	HA56	福祉心理学	2	10,000 円	人が安心して生きる社会を構築するという新たな福祉の概念を理解していく。高齢社会を「豊かさの創造」ととらえる新たな考え方についても学習する。
	HH67	文章力を磨く	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
	HH69	米中メガテック企業の競争戦略	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。

1年次	科目コード	授業科目名	単位数	科目等履修生の受講料	授業科目の概要
は					
	HH49	ペーパーレス時代の紙の価値を探る	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
	HH76	簿記3級を目指す	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
	HH81	簿記を基本から学ぶ	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
ま					
1、2年次	HA77	マーケティングの基本	2	10,000 円	マーケティングが世の中でどのような役割を果たしているのかを理解し、マーケティングを活用するための理論を習得することを目指す。
	HA88	メンタルヘルス・マネジメント初級	2	10,000 円	主に一般社員を対象として、自らのストレスの状況・状態を把握してケアを行い、必要であれば助けを求めることができる目標としている。
履修生等	HH28	モチベーションアップ	2	10,000 円	前半では仕事の場面で自分のモチベーションをコントロールするための科学的な理論と実戦的なスキルを学び、後半では、メンバーのモチベーションを高めるための実戦的なスキルを学ぶ。
取得生	FJ37	問題発見・解決力を伸ばす	2	10,000 円	日々直面する様々な問題を取り上げて、標準的な技法を用いた問題解決の進め方を学習する。
や					
	HH43	USJに学ぶマーケティング思考	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
ら					
学費等	HH50	リーダーシップ論	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
の技能審査等	FV51	労働安全衛生法	2	10,000 円	事業者に課せられている事業場内や作業場所の安全衛生管理体制に関する措置などの理解を深める。
メール配信	FV50	労働基準法	2	10,000 円	労働契約関係、賃金関係、労働時間、休憩、休日および年次有給休暇関係などの規定において、労働者がどのように保護されているか、その原則と例外を理解する。
選択履修登録	FV52	労働者災害補償保険法	2	10,000 円	保険給付ごとに、支給要件、支給内容（給付基礎日額含む）、支給調整、時効などについて整理し理解する。
個人情報取扱	FV54	労働保険徴収法	2	10,000 円	「保険関係の成立及び消滅と労働保険の適用」「労働保険料の具体的な計算」「印紙保険料」などについて学習する。
出願手続き	FV58	労務管理その他の労働に関する一般常識	2	10,000 円	「労働関係法規」については、雇用関係法規、賃金関係法規を中心に、「労務管理」については、雇用関係管理を中心に理解を深める。
紹介制度	HH70	老化メカニズムとアンチエイジング	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
	HH51	ロジカルスピーキング	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
	HH52	ロジカルライティング	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。
	HH71	論理学入門	2	10,000 円	決定次第、ホームページに掲載いたします。

# ●学則抜粋

## 第1章 総則

### (目的)

第1条 本短期大学は、建学の精神にもとづき、教養教育と専門教育が調和した幅広いマネジメント教育を行い、職業および社会生活を主体的に設計する創造性豊かな人間を育成することを目的とする。

2 本短期大学は、前項に定める目的を実現するための教育研究を行い、その成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする。

### (名称)

第2条 本短期大学は、自由が丘産能短期大学と称する。

### (教育研究活動の公表)

第3条 本短期大学は、教育研究の成果の普及および活用の促進に資するため、教育研究活動の状況を公表するものとする。

### (教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第4条 本短期大学は、授業の内容および方法の改善をはかるための組織的な研修および研究（ファカルティ・ディベロップメント：「FD」という。）を行い、その結果を公表するものとする。

### (自己点検・評価および認証評価)

第5条 本短期大学は、教育研究水準の向上に資するため、教育および研究、組織および運営ならびに施設および設備（以下、「教育研究等」という。）の状況について自ら点検および評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 本短期大学は、前項の措置に加え、本短期大学

の教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた機関による評価を受けるものとする。

3 第1項の点検・評価、公表の方法等については、別に定める。

1  
入学次

編2  
入学次

1、  
再  
入学次

履科  
修目  
生等

入学  
資格  
取得生

学費等

の技  
能単  
位認  
定等

メ  
学習  
メール  
開始

授業  
時間に  
選択  
できる  
科専  
履修志  
がる

個  
人学  
情報  
則  
取  
料  
扱

出  
願  
手  
續  
き

紹  
介  
入  
学  
者  
制度

戻  
も  
ぐ  
じ  
へ

## 第2章 学科組織、学生定員および教育研究上の目的

### (学科および学生定員)

第6条 本短期大学に設置する学科および学生の入学定員、収容定員は次のとおりとする。

学科	入学定員	収容定員
能率科通信教育課程	1,500名	3,000名

### (教育研究上の目的)

第7条 本短期大学の教育研究上の目的は、能率の考えにもとづく実践の知の創出を礎に教育研究を行い、実社会と連携し人材育成に取り組むものとする。

2 前項で育成する人材は、ビジネス実務の専門知識・技能をいかし、現代社会を生きる教養をもって、課題に創造的に取り組むことを通じて、豊かな社会をつくることに寄与する人材とする。

### (付属施設)

第8条 本短期大学に図書館を置く。

2 前項の施設に関して必要な事項は、別に定める。

## 第3章 修業年限、学年、学期および授業期間

### (修業年限および在学年限)

第9条 修業年限は2年とする。ただし、4年を超えて

在学することはできない。

- 2 第19条の規定により、第2年次に編入学または転入学した者は、1年の課程を修了したものとみなす。
- 3 修業年限および在学年限は、第13条に定める日から起算する。

(学年)

第10条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第11条 学年を前学期、後学期に分けて2学期とする。  
2 学期は、4月1日から9月30日までを前学期、10月1日から翌年3月31日までを後学期とする。

(授業期間)

第12条 授業は年間を通じて適切に行うものとする。

第4章 入学、編入学、転入学、休学、復学、退学、除籍および再入学

(入学の時期)

第13条 入学の時期は、学期の始めとする。

(入学資格)

第14条 本短期大学に入学することのできる者は、次の各号の1に該当する者とする。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程

を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本短期大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

(入学者の受け入れ)

第15条 本短期大学は「本学が求める学生像」を明示して、本短期大学における学修にふさわしい基礎能力を有すると評価できる者を受け入れるものとする。

2 入学者受け入れの方針は、別に定める。

(入学の志願)

第16条 本短期大学に入学を志願する者は、所定の書類に書類選考料を添えて提出しなければならない。

(入学者の選考)

第17条 前条の入学志願者については、別に定める規程により選考を行う。

(入学手続および入学許可)

第18条 前条の選考の結果にもとづき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、所定の書類を提出するとともに、所定の学費を納入しなければならな

い。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者について、教授会の意見を聴いた上で入学を許可する。

(編入学および転入学)

第19条 本短期大学に編入学または他の短期大学等から転学（以下、「転入学」という。）を志願する者があるとき、学長は選考の上、教授会の意見を聴いて、相当年次に入学を許可することができる。

2 前項の規定により入学を許可された者の既に修得した授業科目および単位数の取り扱い、ならびに在学すべき年数については、別に定める。

3 編入学または転入学できる者は、次の各号の1に該当する者とする。

(1) 大学を卒業した者または大学に2年以上在学し所定の単位を修得した者

(2) 短期大学を卒業した者

(3) 高等専門学校を卒業した者

(4) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者

(5) 学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有し、かつ、次に掲げる者のうちいずれかに該当する者。

①外国の大学・短期大学を卒業した者

②専修学校専門課程のうち文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者

③高等学校の専攻科の課程のうち文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者

④中等教育学校の後期課程の専攻科の課程のうち文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者

4 編入学または転入学の時期は、第13条に定める入学の時期とする。

5 編入学または転入学に関して必要な事項は、別に定める。

(休学)

第20条 病気その他、本短期大学が認めるやむをえない事情のため修学することができない者は、願い出により学長の許可を得て、学期単位で休学するこ

とができる。

2 休学を願い出ができるのは各学期開始日の前日までを原則とする。

3 病気のため修学するが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

4 休学に関して必要な事項は、別に定める。

(休学期間)

第21条 休学期間は、通算して2年を超えることはできない。

2 休学者は、休学期間中は授業に出席、または試験を受けること等はできない。

3 休学期間は、第9条に定める在学年限に算入しない。

(復学)

第22条 休学者は、休学期間中にその事由が消滅した場合は、学長の許可を得て、学期の始めに限り復学することができる。

2 復学に関して必要な事項は、別に定める。

(退学)

第23条 退学しようとする者は、退学を願い出て学長の許可を受けなければならない。

2 退学を願い出る者は、退学する日を含む学期の学費等を納入していかなければならない。

3 退学に関して必要な事項は、別に定める。

(除籍)

第24条 次の各号の1に該当する者は、学長が除籍する。

(1) 第9条第1項に定める在学年限を超えた者

(2) 学費を督促してもなお第40条第2項に定める所定の期限から3か月以上納入しない者

(3) 第21条に定める休学期間を超えてなお修学できない者

(4) 長期間にわたり行方不明の者

(5) 死亡した者

2 除籍に関して必要な事項は、別に定める。

(再入学)

第 25 条 次の各号のいずれかに該当する者が、再入学を願い出た場合、以前に在学していたときの成績を考慮し、教授会の意見を聴いた上で、学長はこれを許可することができる。

(1) 第 23 条に定める退学者

(2) 第 24 条第 1 項に定める除籍者のうち、第 1 号から第 4 号に定める者

2 再入学に関して必要な事項は、別に定める。

## 第 5 章 教育課程等

(教育課程編成と実施)

第 26 条 本短期大学は「本学が育成する人材」を実現するため、体系的に教育課程を編成し、教育の質の向上をはかるものとする。

2 教育課程編成・実施の方針は、別に定める。

(授業科目および教育課程)

第 27 条 教育研究上の目的を達成するために、授業科目区分として、「教養教育科目」「専門教育科目」を設け、体系的に教育課程を編成する。

2 前項の各区分に開設する授業科目の教育課程、単位数等は別表第 1 のとおりとする。

(授業の方法)

第 28 条 授業は、通信授業、放送授業、面接授業および多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室以外の場所で履修させる授業（以下、「メディア授業」という。）のいずれかまたはこれらの併用により行う。

2 通信授業は、主として印刷教材等により学修させる授業、放送授業は、主として放送その他これに準ずるもの視聴により学修させる授業、面接授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかによりまたはこれらの併用により行う授業、メディア授業は、多様なメディアを高度に利用して行う授業をいう。

3 通信授業、放送授業、面接授業およびメディア授業を実施する授業科目、授業の実施方法については、別に定める。

4 通信授業、放送授業、面接授業およびメディア授業のうち特に受講料の徴収を必要とする授業科目（以下、「受講料対象科目等」という。）の受講料は、別表第 3 のとおりとする。

5 通信授業および放送授業においては、学生は、所定の報告課題について学修報告（以下、「リポート」という。）を提出し、添削指導を受けるものとする。なお、通信授業および放送授業における質疑は、所定の質問票によって行うものとする。

6 第 1 項の授業は、外国において履修させることができる。

(単位の計算方法)

第 29 条 各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次の基準により計算する。

(1) 通信授業については、45 時間の学修を必要とする印刷教材等の学修をもって 1 単位とする。

(2) 放送授業については、15 時間の放送授業をもって 1 単位とする。

(3) 面接授業の講義および演習（メディア授業を含む。）については、15 時間の授業をもって 1 単位とする。

(4) 面接授業の実験、実習および実技（メディア授業を含む。）については、30 時間の授業をもって 1 単位とする。

## 第6章 試験および成績

## 第7章 卒業の要件等

(試験の種類と単位の授与)

第30条 授業科目を履修し、当該授業科目の試験に合格した者には所定の単位を与える。

- 2 試験は、科目修得試験、面接授業試験、メディア授業試験とする。
- 3 通信授業（放送授業を併せ行う授業を含む。）による各授業科目の履修においては、リポートに合格しきつ指定の時期に科目修得試験を受けなければならない。
- 4 面接授業、およびメディア授業による各授業科目の履修においては、指定の時期に、面接授業については面接授業試験を、メディア授業についてはメディア授業試験を受けなければならない。
- 5 試験の方法については、別に定める。

(学修の評価)

第31条 学修の評価は、合格を上位から「S」「A」「B」「C」の4段階とし、不合格を「F」とする。

- 2 評価にあたっては、出席状況を考慮するものとする。

(追試験および再試験)

第32条 病気その他正当と認められる事由により、試験を受験できなかった授業科目については、追試験によって単位の認定を受けることができる。

- 2 試験が不合格のため単位が認定されない授業科目については、再試験によって単位の認定を受けることができる。ただし、再試験が実施されないときはこの限りではない。
- 3 追試験および再試験について必要な事項は、別に定める。

(学年進級)

第33条 通信教育に1年以上在学した者は、2年次に進級する。

- 2 学年進級について必要な事項は、別に定める。

(卒業の要件および認定)

第34条 卒業の要件および認定は、次のとおりとする。

休学、停学期間を除いて2年以上在学し、別表第2にもとづいて、62単位以上（そのうち15単位以上は面接授業またはメディア授業により単位を修得していること。ただし、当該15単位のうち5単位までは、放送授業により修得した単位で代えることができる。）を修得した者には、教授会の意見を聴いた上で、学長は卒業を認定する。

- 2 卒業について必要な事項は、別に定める。

(学位の授与)

第35条 前条で学位授与の方針にもとづき学修の成果を修得し卒業の認定を受けた者には、別に定める「短大 学位規程」により、学長は、教授会の意見を聴いた上で、短期大学士の学位を授与する。

- 2 学位授与の方針については、別に定める。

(他の短期大学または大学における授業科目の履修等)

第36条 本短期大学は、教育上有益と認めるときは、学生が他の短期大学または大学との協定にもとづきその授業科目を履修することを認め、当該短期大学または大学において修得した単位を、別に定める規程により30単位を超えない範囲で、本短期大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、本短期大学の承認を受けて、学生が外国の短期大学または大学に留学する場合および外国の短期大学または大学が行う通信教育に

おける授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

## 第8章 学費等

(短期大学または大学以外の教育施設等における学修)

(学費等)

第37条 本短期大学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学または高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本短期大学における授業科目の履修とみなし、別に定める規程により単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項および第2項により本短期大学において修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第38条 本短期大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本短期大学に入学する前に短期大学または大学（外国の短期大学等を含む。）において履修した授業科目について修得した単位を、本短期大学に入学した後の本短期大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本短期大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本短期大学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本短期大学における授業科目の履修とみなし、別に定める規程により単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなし、または与えることができる単位数は、編入学、転入学の場合を除き、本短期大学において修得した単位以外のものについては、第36条第1項および前条第1項により本短期大学において修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えないものとする。この場合において、第36条第2項により本短期大学において修得したものとみなす単位数と合わせるときは45単位を超えないものとする。

第39条 本短期大学の学費および書類選考料は、別表第3のとおりとする。

2 学費等は、学年の始めまでにこれを定める。

(学費等の納入)

第40条 入学を許可された者は、入学金、授業料等を指定された入学手続期間内に納めなければならない。

2 学費等は、学年の始めに納めなければならない。  
3 授業料については、分納することができる。

(休学の場合の学費)

第41条 休学を許可された者または命ぜられた者については、その学期の授業料を免除する。

(再入学の場合の学費等)

第42条 第25条に定める再入学を許可された者は、所定の学費を納入しなければならない。

2 納入する学費は、別に定める。

(納入した学費等)

第43条 一たん納入した学費および書類選考料は返還しない。ただし、入学辞退者、退学者、休学者、除籍者等については、別に定める。

(学費等の減免)

第44条 特に必要と認めた場合には、学費および書類選考料を減免することができる。

2 学費等の減免に関して必要な事項は、別に定める。



(特別聴講学生)

第 53 条 学長は、他の短期大学または大学（外国の短期大学または大学を含む。）と本短期大学との単位互換協定にもとづき、本短期大学の授業科目の一部の履修を希望する者に対しては、特別聴講学生としてこれを許可することができる。

- 2 特別聴講の開始日は、学期の始めとする。
- 3 特別聴講学生の単位の認定および学修の評価は、第 30 条と第 31 条の定めに準じて行う。
- 4 特別聴講学生の学費は、別表第 3 のとおりとする。
- 5 特別聴講学生に関して必要な事項は、当該短期大学または大学との協定において定める。

(入学資格取得生)

第 54 条 短期大学入学資格を有しない者で、本短期大学通信教育への入学資格を得ることを目的とする者に対しては、本短期大学の教育に支障がない限り、選考の上、学長は入学資格取得生として受講を許可することができる。

- 2 入学資格取得生に関して必要な事項は、別に定める。

## 第 11 章 賞罰

(表彰)

第 55 条 品行方正、学業優秀な者、また学生として模範的行為があった者については、学長はこれを表彰することができる。

- 2 表彰に関して必要な事項は、別に定める。

(懲戒)

第 56 条 学生が、本学則または本短期大学の指示にしたがわなかったとき、またはその他学生にあるまじき行為があったときは、学長は教授会の意見を聴いた上で、これを懲戒することができる。

2 懲戒には、戒告、停学および退学がある。

- 3 前項の退学は、次の各号の 1 に該当する学生に対して行う。
  - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
  - (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
  - (3) 正当な理由がなくて出席常でない者
  - (4) 本短期大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

## 第 12 章 奨学

(奨学)

第 57 条 本短期大学に奨学制度を設ける。

- 2 奨学制度に関して必要な事項は、別に定める。

## 附則

本学則は、2019 年 4 月 1 日から施行する。

# 個人情報の取り扱い

産業能率大学・自由が丘産能短期大学通信教育事務部（以下、「本学」という。）は、ご提供いただいた個人情報について、以下のとおり適切に取り扱います。

## 1. 管理者の職名、所属および連絡先

管理者名：個人情報保護管理責任者 総務部長  
所属部所：学校法人産業能率大学 総務部  
連絡先：東京都世田谷区等々力6-39-15

## 2. 利用目的

ご提供いただいた個人情報は、次の目的で利用し、その他の目的に利用いたしません。

- (1) 在学生（科目等履修生、入学資格取得生等を含む）
  - ① 本学の教育・指導、管理・運営に係る業務上の各種通知・連絡を行うため
  - ② 授業を円滑に運営するため
  - ③ 学生の学籍管理、履修・成績管理等を行うため
  - ④ 学生の表彰、奨学金の交付等、学生生活支援および厚生補導業務を行うため
  - ⑤ 成績・在籍等の証明に関する業務を行うため
  - ⑥ 図書館や教育・研究施設、機器等の利用、教室・会議室等の貸し出しのため
  - ⑦ 学生の交流（国内外の他大学等）に関する業務のため
  - ⑧ 各種情報サービスの提供・運営に関する業務のため
  - ⑨ 学生会の運営に関して、学生会から要請があり、通信教育事務部長がこれを許可した場合
  - ⑩ 日本FP協会から特別認定教育機関のプログラムのため要請があり、通信教育事務部長がこれを許可した場合
  - ⑪ 大学院の説明会開催などのご案内書送付に関する業務を行うため
- (2) 卒業生
  - ① 卒業・成績・在籍等の証明書に関する業務のため
  - ② 広報、調査・アンケート、募金に関する業務のため
  - ③ 通教校友会（卒業生組織）運営に関して、通教校友会からの要請があり、通信教育事務部長がこれを許可した場合
  - ④ 大学院の説明会開催などのご案内書送付に関する業務を行うため
- (3) 離籍者
  - ① 成績・在籍等の証明書に関する業務のため
  - ② 広報・調査・アンケートに関する業務のため
- (4) 入学のための資料請求者
  - ① 入学案内書等の資料送付に関する業務のため
- (5) 入学志願者
  - ① 入学者の選考に関する業務のため
- (6) 共通
  - ① 自己点検・評価、第三者評価、各種統計調査および補助金申請に関する業務のため
- (7) その他
 

上記の(1)から(6)の他、本学の管理・運営に関する業務において、必要な事項を処理するため

ただし、次の①から④の場合は、この限りではありません。

  - ① 法令に基づく場合
  - ② 公衆衛生の向上または学生の健全な育成推進のために特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき
  - ③ 国の機関もしくは地方公共団体またはその委託を受けた者が法令の定める業務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、本人の同意を得ることによって当該業務の遂行に支障を及ぼす恐れがあるとき
  - ④ 人の生命、身体、財産を保護するために必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき

## 3. 個人情報がご提供いただけない場合の制限

個人情報の一部または全部がご提供いただけない場合、本学のサービスの一部または全部が利用できなくなることがあります。

## 4. 個人情報の管理

本学は、ご提供いただいた個人情報の漏洩、滅失またはき損の防止の徹底を図るとともに、必要な安全対策を講じて保管・管理いたします。

## 5. 個人情報の第三者への提供

本学は次のいずれかに該当する場合を除き、個人情報を第三者へ開示・提供いたしません。

- (1) ご本人が事前に承諾・同意された場合
- (2) 法令に基づく場合
- (3) 公衆衛生の向上または学生の健全な育成推進のために特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき
- (4) 国の機関もしくは地方公共団体またはその委託を受けた者が法令の定める業務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、本人の同意を得ることによって当該業務の遂行に支障を及ぼす恐れがあるとき
- (5) 人の生命、身体、財産を保護するために必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき

## 6. 外部委託

上記「2. 利用目的」を達成するために、業務の一部を第三者に委託する場合があります。その場合は、安全管理基準を満たした委託先を選定するとともに、守秘契約の締結等により、委託先による個人情報の不適切な利用がないように、委託先を管理します。

## 7. 個人情報の開示、訂正、追加、削除、利用停止等

ご提供いただいたご自身の個人情報について、利用目的の通知、開示および間違った情報の訂正、追加、削除、利用停止、消去または第三者への提供の停止等（以下、「開示、訂正等」という。）を請求することができます。開示、訂正等を請求される場合は、本学担当までご連絡ください。その場合、ご本人以外への個人情報の漏洩等を防止するため、ご本人であることを確認のうえ、特別の理由がない限り速やかに開示、訂正等の措置を講じます。ただし、本学が開示、訂正等が不適当と認めた場合は、その限りではありません。

## 8. 確認等のためのご連絡

ご本人の希望による場合の他、業務の運用・管理または登録内容の確認等のために、電話、郵便、E-Mail等により、ご連絡を差しあげる場合があります。

## 9. お問い合わせ先

本学の個人情報の取り扱いに関する質問、開示等のご依頼、苦情その他個人情報についてのお問い合わせは、以下の本学担当までご連絡くださいますようお願いいたします。

- (1) 在学生、卒業生、入学希望者等
 

通信教育事務部 通信教育学務課 個人情報相談窓口  
住 所：〒158-8632 東京都世田谷区等々力6-39-15  
受付時間：木曜日～月曜日（9:00～17:30）  
電話：03-3704-8298  
FAX：03-3704-8205  
E-Mail：tsukyo@hj.sanno.ac.jp
- (2) 入学のための資料等請求者
 

入試企画部 通信教育広報課 個人情報相談窓口  
住 所：〒158-8632 東京都世田谷区等々力6-39-15  
受付時間：平日のみ（9:00～17:30）  
電話：03-3704-1436  
FAX：03-3704-5373  
E-Mail：tsukyo@hj.sanno.ac.jp

2019年10月4日	更新
2017年8月9日	更新
2015年8月1日	更新
2014年11月10日	更新
2013年11月10日	更新
2011年8月8日	更新
2008年11月10日	更新
2006年11月10日	更新
2005年5月27日	制定

## 出願手続き

## 〔出願の際の注意事項〕

- 証明書類は必ず原本を提出してください（「写し」を指定した場合を除く）。
- 郵送による出願の場合は、必ず簡易書留で郵送してください。
- インターネット出願で証明書類を送る場合は、「宛名ラベル」を印刷し、市販の角2封筒に貼付して、必ず簡易書留で郵送してください（「宛名ラベル」を印刷しない場合は、レターパックプラスでお送りください。）。
- 出願書類の到着確認には応じられませんので、追跡サービスを利用して各自でご確認ください。
- 入学志願書受付期間中（4月期入学の方は4月30日本学必着、10月期入学の方は10月31日本学必着）に**必要証明書類**が本学に到着しなければ、出願として認められません。余裕をもって出願するとともに、不備のないよう注意してください。
- 本学におけるインターネット画面上の表示や各種証明書（学生証・学位記含む）の氏名等の文字は、コンピューターで処理を行う関係上、JIS水準1～2までの取り扱いとなりますので、あらかじめご了承ください。
- ※特殊な文字については、JIS水準1～2程度の文字に置き換えられるか、カタカナ等で表記されます。

## 「出願方法の選択」

## 1. インターネット出願

本学ホームページの入力フォームから出願してください。

※証明書類は、簡易書留又はレターパックプラスで郵送してください。

- インターネット出願期間中であれば、24時間いつでも出願可能です。
- 出願の際に必要な証明写真の登録ができます。
- 入学時の学費は、全国の主要なコンビニエンスストアでお支払い可能

### 《出願期間》

入学期	出願期間
2020 年度 4 月期入学の方	1 月 10 日～4 月 23 日まで ※ 1 月 10 日 0 時 0 分～4 月 23 日 23 時 59 分まで
2020 年度 10 月期入学の方	7 月 1 日～10 月 23 日まで ※ 7 月 1 日 0 時 0 分～10 月 23 日 23 時 59 分まで

### 《出願前に準備するもの》

□メールアドレス  
インターネット出願には、メールアドレスが必要となります。  
日常的に受信を確認できるメールアドレスをご用意ください。

□証明写真  
正面向き、上半身、脱帽、背景無地、個人を判別できる写真になります。学生証・入学志願書の写真（データ）として使用します。

次の方のどちらかで提出してください。

### ○アップロードする場合

アップロードは出願の際に行います。画像ファイルの形式は、JPG で 3.0MB 以内でご準備ください。

## ○アップロードしない場合（郵送する場合）

学費お支払い後、Web上で「証明写真貼付用台紙」をダウンロードし印刷したうえで、写真（同一のものを2枚、サイズ：縦3.0cm×横2.4cm）を貼付してください。証明書類に同封して郵送してください。

## □入学資格を証明するもの

○該当する入学資格に応じた証明書類を出身校（出身校の様式）から取得してください（様式の指定はありません）。（専修学校専門課程（専門学校）の証明書を除く。）

○専修学校専門課程（専門学校）の証明書は、本学所定の様式を本学ホームページ【インターネット出願】ページから出力し、出身校へ提出して作成を依頼してください。

※証明書類は別途郵送していただく必要があります。

## パソコン・スマートフォン・タブレットの動作環境について

OS ..... Windows: 8,10 Mac OS X: 最新版 Android: 6.0 以降 iOS: 最新版

ブラウザ推奨環境 ..... Windows: Internet Explorer 11 Firefox 最新版

Google Chrome 最新版

Mac: Safari 最新版 Firefox 最新版 Google Chrome 最新版

Android: Chrome 最新版（※「ブラウザ」アプリには対応しておりません。）

iOS: Safari 最新版

PDF ..... Adobe Reader 最新版

※最新版（2019年10月8日現在）

本学では、インターネット出願の運営をライオン企画株式会社へ委託しています。

インターネット出願の入力操作に関するお問い合わせは、ライオン企画株式会社インターネット出願サポートセンターへお願いします。

問い合わせ先：本学ホームページ【インターネット出願手続き】ページをご覧ください。

## 《出願の登録手順》



## Step 1

本学のホームページからインターネット出願ページへアクセスします。

本学ホームページURL:<https://www.sanno.ac.jp/tukyo/>



本学ホームページQRコード

- (1) 「出願登録する」をクリック
- (2) 「利用規約」をご確認いただき、「同意する」をチェックし「次へ」をクリックしてください。
- (3) ご希望の出願情報を、以下の6つの項目について選択してください。

①大学短大区分	…例) 短大
②入学年次／入学区分	…例) 1年次入学
③学費減免区分	…例) 無し
④入学資格としての学歴	…例) 高等学校
⑤入学希望コース	…例) 経営管理
⑥学費納入区分	…例) 全納



## Step 2

## 利用者登録と志願者情報の入力ページへのログイン

- (1) 初めての方は、「利用者登録の手順」を確認のうえ、登録を完了してください。  
利用者登録を完了されると、次回からは登録したメールアドレスとパスワードでログインできます。  
利用者登録の手順(簡易)
  - ① メールアドレスとパスワードを自由に登録できます。
  - ② 登録したメールアドレスへ登録完了のためのメールが届きます。
  - ③ 届いたメールの文中有るURLへアクセスすると登録完了です。
 ※メールの受信拒否設定をされている方は、(@e-univ.jp) のドメイン受信許可設定をお願いします。
- (2) 志願者情報の入力をします。  
志願者情報では、ご本人のお名前やご住所、入学資格等、必要内容を入力または選択してください。
- (3) 顔写真をアップロードします(任意)。

【アップロードの写真について】

写真のアップロード方法、トリミングについては  
「顔写真アップロードの説明PDF」をご覧ください。

3ヶ月以内に撮影したもの  
本人のみが写っている  
上半身無帽で、頭部全体が写っている  
背景が無地である

※

例



※この条件を満たさない場合は、再提出していただく場合があります。

## 【アップロードの手順】

## STEP1 写真をアップロード



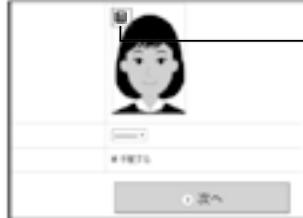
①(写真を選択)ボタンを押下し、写真をアップロードします。  
※(写真を選択)を押下すると、選択可能なご自分のパソコンやスマートフォンの該当フォルダが表示されます。  
その中から証明書写真としてふさわしい写真を1枚選択します。

## STEP2 写真の切り抜き位置を調整する



①写真をアップロードすると、写真と各編集ボタンが表示されます。  
切り抜き位置を調整後、「✓」を押下し、写真を確定してください。

## STEP3 切り抜いた写真を確認する



①確定した写真を確認します。  
「✓」を押下することでSTEP1からやり直しが可能です。  
②確認後、(次へ)を押下し、志願者情報の確認ページへ進んでください。

必要内容を入力したら、ページ下部の「次へ」をクリックしてください。



## Step 3

学費の支払い方法を選択します。

- ① コンビニエンスストアで支払う(現金払い)※コンビニエンスストアを選択します。
- ② 学費サポートプランを利用する(学費ローン)

学費サポートプラン(学費ローン)をご利用の方は、別途、オリコへお申し込みください。  
※学費サポートプランの詳細については、P.30～32「学費サポートプラン」をご参照の上、インターネットからお申し込みください。

- (1) 入力完了後、登録いただいたメールアドレスに支払いのための案内メールが届きます。  
ご指定されたコンビニエンスストアでのお支払いに必要な各種番号をご確認いただきお支払いをお願いいたします。
- (2) 入学時の学費のお支払い後に支払い完了メールが届きます。  
証明写真貼付用台紙(証明写真をアップロードした場合は不要)と「宛名ラベル」(レターパックプラスで郵送する場合は不要)をA4サイズで印刷します。



## Step 4

入学資格を証明する書類や証明写真貼付用台紙等の出願書類一式を取りまとめます。  
出願書類一式を、市販の角2封筒に入れ「宛名ラベル」を貼って簡易書留で郵送してください(「宛名ラベル」を印刷しない場合は、レターパックプラスでお送りください)。



## Step 5

本学に出願書類の到着をもってインターネット出願は完了です。  
書類審査完了後、約2週間後にお手元に学生証等が届きます。

学習START!

## 2. 郵送による出願

志願書に同封されている簡易書留の封筒を用いて郵送してください。

●志願書と証明書類を同一の封筒で一度に出願できます。

●入学時の学費は、全国のゆうちょ銀行でお支払いが可能です。

### 《出願期間》

入学期	出願期間
2020年度4月期入学の方	1月10日～4月30日まで ※本学必着
2020年度10月期入学の方	7月1日～10月31日まで ※本学必着

### 《出願前に準備するもの》

志願書

「学生募集要項」に同封されています。

顔写真（同一のものを2枚、縦3cm×横2.4cm）

顔写真は学生証の写真として使用します。証明写真貼付用シールに貼付し、志願書と証明書類とともに郵送してください。

入学資格を証明するもの

○該当する入学資格に応じた証明書類を出身校（出身校の様式）から取得してください（様式の指定はありません）。（専修学校専門課程（専門学校）の証明書を除く。）

○専修学校専門課程（専門学校）の証明書は、志願書に同封されている本学所定の様式を出身校へ提出して作成を依頼してください。

振替払込受付証明書（お客様用）

学費振込後、払込取扱票右端の「振替払込受付証明書（お客様用）」を入学志願書の裏面に貼付し、ご出願ください（学費サポートプランをご利用の方は、志願書にオリコへの申込日を記入し、入学区分をチェックしてください。）。

### 《出願の登録手順》

「学生募集要項」に挟み込みの志願書を使って出願してください。志願書は、学生の種類、入学年次によって異なります。

#### STEP 1

志願書の記入例を確認して記入します。顔写真を貼付します。

#### STEP 2

出願書類一式を取りまとめ、志願書に同封されている封筒を用いて、簡易書留で郵送してください。



## 卒業生・在校生からの入学者紹介制度

自由が丘産能短期大学 通信教育事務部

本学は、通信教育課程への入学にあたり、本学卒業生または在学生からの入学者紹介制度を設けています。

この制度は、自由が丘産能短期大学または産業能率大学（大学院を含む）の卒業生、あるいは在校生の方（以下、「紹介する方」といいます。）から、ご紹介いただいた方（以下、「紹介を受ける方（入学志願者）」といいます。）が、正科生または入学資格取得生として入学された場合、紹介する方と紹介を受ける方（入学志願者）の双方に5,000円分の図書カードを差し上げているものです。

以下に制度の概要をご案内しますので、ご紹介を受けて本学への入学志願を決めた方は、ぜひご利用ください。

### ・図書カードの送付について

書類審査の結果、入学を許可した方について、①紹介者、②紹介される方（入学者）の双方に図書カードを郵送（簡易書留による）します。

#### 〔図書カード発送予定日〕

入学時期	図書カード発送予定
4月期入学の方	6月末
10月期入学の方	12月末

### 【入学者紹介制度の概要】

#### 1. 紹介する方

次のいずれかに該当する方です。

- (1) 自由が丘産能短期大学の卒業生または在校生（休学中の方を含む）
- (2) 産業能率大学（大学院を含む）卒業生または在校生（休学中の方を含む）

※いずれも通信教育課程、通学課程の別は問いません。

※入学する学期が同じ場合、新入生同士の紹介は、対象としません。

#### 2. 紹介を受ける方（入学志願者）

自由が丘産能短期大学通信教育課程の正科生への入学者。

自由が丘産能短期大学通信教育課程の入学資格取得生への履修者。

ただし、次のいずれかに該当する方は除きます。

- (1) 本学での学習履歴がある方<sup>\*1</sup>
- (2) 親族割引を利用する方
- (3) シニア奨学金制度を利用する方
- (4) 専門学校、企業等の団体入学の方

※ 1：「本学での学習履歴」とは、自由が丘産能短期大学または産業能率大学（大学院を含む）に在籍した履歴がある方。

1  
入学次

編2  
入学次

1、  
再  
入学次

履  
修  
目  
生  
等

入  
学  
資  
格

学  
費  
等

の  
技  
能  
単  
位  
認  
定  
等

メ  
ー  
ル  
配  
始

入  
学  
時  
間  
選  
択  
可  
能  
性  
の  
一  
覧

個  
人  
学  
則  
取  
扱  
料  
拔  
取  
扱

出  
願  
手  
續  
き

紹  
入  
学  
制  
度

戻  
も  
く  
じ  
へ

### 3. 申請方法

P.63の「卒業生・在学生からの入学者紹介制度申請書」に必要事項をご記入のうえ、切り取って出願書類と一緒に本学へご提出ください。

- ※ 申請書に不備（空白、誤記）等がある場合は、受け付けできません。記入漏れがないように十分にご確認ください。
- ※ 出願書類の提出時のみ受け付けます。出願書類の提出後、もしくはご提出の前は受け付けませんので、ご留意ください。

#### 4. 留意事項

- (1) 本制度は、友人・知人の方から本学通信教育課程を紹介され、本学へ入学した方に適用する制度です（ただし、入学手続完了後に入学辞退をした方は除きます）。
- (2) この申請書は特別な事情・理由がない限り、紹介する方および紹介を受ける方（入学志願者）がそれぞれ自筆でご記入くださるようお願いします。
- (3) 本制度の利用を目的とし、インターネット等の媒体またはその他の手段を用いて、一時的に紹介者および被紹介者を募る行為等を行った場合は、入学者紹介制度の申請について許可を取り消し、図書カードを贈呈済みの方には本学に返還していただきます。
- (4) 場合によっては、紹介された方または紹介を受けた方（入学志願者）のいずれかに、申請書に関する内容を確認するためにお電話でご連絡を差し上げる場合がありますので、予めご了承ください。

以上

お問い合わせ先  
入学者紹介制度担当  
直通電話：03-3704-1164

## 卒業生・在校生からの入学者紹介制度申請書（2020年度用）

（出願書類と一緒にご提出ください）

1  
入学次

編2  
入学次

1、  
再  
入学次

履科  
修目  
生等

入学  
資格  
取得生

学  
費等

の技  
能審  
査等  
の単  
位認  
定等

メ  
学  
習開  
始等

入  
学時  
に選  
択可  
能志  
願書  
の覧  
覧

個  
人  
情  
報  
取  
扱  
方  
法

出  
願  
手  
續  
き

紹  
介  
制  
度

戻  
も  
く  
じ  
へ

年 月 日 申請

自由が丘産能短期大学 通信教育事務部長殿

私は、学生募集要項P.55の「個人情報の取り扱い」を確認し、同意のうえ記入します。

\*枠内に必要事項を紹介者およびご紹介される方がそれぞれ自筆でご記入ください)。

### 【紹介者】

ふりがな 氏 名	※旧姓のある方は、旧姓もご記入ください。	旧姓： ( )
生年月日	年 月 日	
ご 住 所	〒 -	
電話番号	( )	

〈卒業生の方へ〉

卒業年月等をご記入ください。

産業能率大学（大学院）  
産業能率大学（通信教育課程）  
産業能率大学（通学課程）  
自由が丘産能短期大学（通信教育課程）  
自由が丘産能短期大学（通学課程第Ⅰ部）  
自由が丘産能短期大学（通学課程第Ⅱ部）

年 月 卒業

### 〔図書カード発送予定日〕

入学時期	図書カード発送予定
4 月期入学の方	6月末
10 月期入学の方	12月末

〈在校生の方へ〉

学生番号をご記入ください。

学生番号							

### 【ご紹介される方（正科生または入学資格取得生への志願者）】

氏 名	
ご 住 所	〒 -
電話番号	( )

個人情報保護：本学はご提出いただいた書類につきまして、重要な個人情報として充分に留意し取り扱います。本件に関する目的以外で今回ご提出いただいた情報を利用することはございません。

大学記入欄		
・親族割引適用	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
・シニア奨学金適用	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
・月 日 ( )	学籍発生予定	

通信教育 事務部長印	通信教育 学務課長印	受付印	審査結果
			<input type="checkbox"/> 許可 <input type="checkbox"/> 不許可



## 入学式・学習ガイダンス日程

**4月期(4月1日付)入学生** ..... 5月10日(日) 於 自由が丘キャンパス

**10月期(10月1日付)入学生** ..... 11月3日(火祝) 於 自由が丘キャンパス

\* 学習ガイダンスは、補助教材（「学習のしおり」「シラバスⅠ」「シラバスⅡ」）の活用方法の理解、科目修得試験やスクーリング等の学習方法の習熟を目的に実施します。また、「学生会ガイダンス」「在学生との懇談会」もあわせて行います。本学のほか、大阪と名古屋でも実施します。詳細は「学生ポータルサイト（iNet-Campus）」等でご案内いたします。

## 入学手続きについてのお問い合わせ先

〒158-8632 東京都世田谷区等々力6-39-15

**TEL : 03 - 3704 - 1164** (入学手続きについて)

**FAX : 03 - 3704 - 8205**

(受付時間 9:00～17:30 土曜・日曜・祝日を除く)

<http://www.sanno.ac.jp/tukyo/>



(学)産業能率大学は、2003年にプライバシーマークの認定をわが国の大学の中で初めて受けました。本学では個人情報の重要性を認識し、その保護に取り組んでまいります。

10910003(09)